

# 佐伯市行政経営推進プランの進捗状況について

(令和2年度取組中間報告)

令和2年11月

行政マネジメント課



# 進捗管理と評価方法について

## (1) 進捗管理について

佐伯市行政経営推進プランの着実な実行に向けて以下のとおり、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のP D C Aサイクルにより継続的に取組を進めていきます。

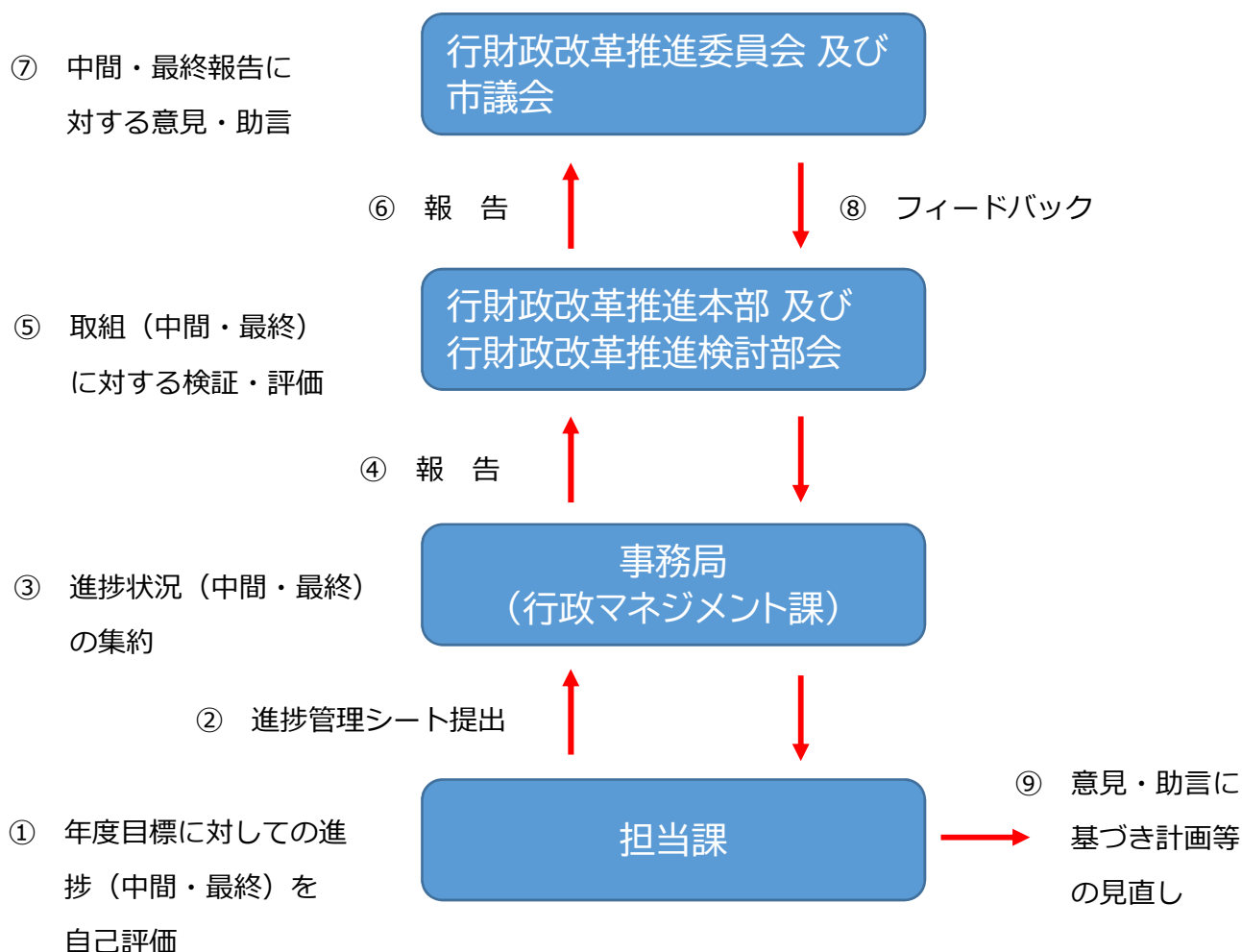


## (2) 評価方法について

実施計画ごとに年度目標の設定を担当課が行い、その年度目標に対しての取組の自己評価を進捗管理シート（中間・最終）にて報告し事務局に提出。事務局が進捗管理シートを基本方針別に集約して、進捗状況を行財政改革推進本部（行財政改革推進検討部会）に報告を行う。

行財政改革推進本部（行財政改革推進検討部会）は、各取組に対する検証と評価を行い、その結果を行財政改革推進委員会及び市議会に報告する。その報告に対しての意見及び助言については、各実施計画の担当課にフィードバックし、次年度以降の取組の見直し等に反映する。

<イメージ図>



## <全体集計>

実施計画の進捗状況に対する自己評価判定区分（令和2年度取組中間時点）

自己評価	評価区分	計画数	割合
	達成	0	0%
	計画より早い	5	7%
	計画通り	60	89%
	計画より遅れている	3	4%
	再検討	0	0%
	未着手	0	0%
	中止	0	0%
計		68	100%

行財政改革推進本部評価	評価区分	計画数	割合
	自己評価を支持	65	96%
指摘あり	3	4%	
計		68	100%

## ○自己評価の判定区分

### <実施計画の進捗・達成状況について>

各実施計画に掲げる実施内容、目標指数、取組項目のスケジュール及び今年度の年度目標などを総合的に勘案し、以下の区分で自己評価を行います。

実施項目の進捗状況に対する自己評価判定区分（各年度中間時点）

中間自己評価判定区分	定義
達成	計画目標を達成した
計画より早い	計画以上のペースで取り組んでいる
計画通り	計画通りに取り組んでいる
計画より遅れている	計画よりペースが遅い
再検討	取り組みを進めていく中で、計画目標の達成が困難と判明したため、手法等を再検討している
未着手	取り組み自体に着手していない
中止	取り組みを進めていく中で、改革の達成が困難と判明したため、計画を中止する

# 表の見方

## 令和2年度取組中間報告について

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン)   実施計画進捗管理シート(中間)						
基本方針	1 職員の意識改革と組織力の向上	推進項目	(1) 人材育成と職員の意識改革			
実施項目	① 人材育成の推進	担当課	総務課			
		関係課	全庁			
現状・課題	人財育成基本方針に基づき、高い倫理観と的確な問題解決能力を身に付け、市民との信頼関係を築きながら、業務全体を見通した事務事業の改善・改革を積極的に進めていく職員の育成を目指している。しかし、限られた職員で市民サービスの充実と市政の発展に取り組むということは容易ではなく、職員一人当たりの業務量が増加している。					
実施内容	人財育成基本方針の改訂及び適正な運用を行うとともに、より専門性の高い職員を育成するため、研修機関や県との人事交流等を活用して職員研修の充実を図る。また若手職員の育成を図るため、新入職員を配置する職場の整理やサポーター制度の継続、適正なジョブローテーションを行う。					
目標指数		現状値	令和元年度	-		
		目標値	令和6年度	-		
▼スケジュール						
	取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	人財育成基本方針の改訂	●				
	職員研修の充実	●				
	若手職員の育成	●				
【令和2年度 実施内容】						
年度目標	①8月末までに職員意識調査を実施し、意見を分析・反映させた改訂(案)の作成を行い、3月議会に報告したうえで新人財育成基本方針を策定する。 ②大分県自治人材育成センター主催の階層別研修対象者の100%受講と受講管理を徹底する。また、職員自らが講師となる職員講座の充実と有効な実施方法の検討を行う。(上半期2回・下半期3回) ③新規採用職員サポーター制度の継続と、制度の周知強化を行う。(6月:意見交換会、7月:全庁周知、10月:制度見直し)また、採用5年目までの必須受講研修の検討を行う。					
中間報告	①8月末までに職員へ職員意識調査を実施し、意見を分析・反映させた改訂(案)の作成を進めている。 ②大分県自治人材育成センター主催の階層別研修を対象者57名のうち54名が受講。(受講率94.7%)業務等により受講できなかった者は、来年度の受講を促す。職員講座2回実施。(計61名参加) ③新規採用職員サポーター制度の継続と、制度の周知を行った。(6月:意見交換会実施、7月:全庁周知)。採用5年目までの必須受講研修(自己管理・タイムマネジメント研修、事務処理マニュアル作成研修)に政策形成入門研修、女性職員キャリア支援研修の2研修を追加。					
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成					
今後の対応(年度中の取組)	人財育成基本方針の改訂については、再度、職員へ意見を求める等、調査結果を分析・反映した改訂(案)を作成し、3月議会に報告したうえで策定する。 職員講座については、下半期に3回実施する。 新規採用職員サポーター制度意見交換会を10月に実施し、必要があれば制度の見直しを行う。					
本部署評価	<input type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘					
意見						



令和元年度に策定した実施計画計画の見直しによる変更の必要がある場合は行革推進委員会に諮り変更を行う。(令和3年2月開催予定)



令和2年度取組中間報告【担当課による自己評価】各実施計画に掲げる実施内容、目標指数、取組項目のスケジュール及び今年度の年度目標などを総合的に勘案した自己評価。



行財政改革推進本部及び検討部会による各取組に対する検証と評価。

## 基本方針 1 職員の意識改革と組織力の向上 【職員・組織の改革】

推進項目 (1) 人材育成と職員の 意識改革	概要	職員研修制度の充実や適材適所の人員配置により、職員一人ひとりの資質の向上をめざします。また職員一人ひとりが問題意識、目的意識をもって職務に遂行し、コスト意識の徹底や業務改善意識の高揚を図り、職員が一丸となって行財政改革を推進する体制を構築します。
	項目	① 人材育成の推進 P 11
		② 人事評価制度の活用 P 12
		③ 職員の意識改革 P 13
推進項目 (2) 組織体制の最適化	概要	限られた経営資源のもと、効率的な行政経営を行うため、人件費の適正管理を行います。また行政課題の変化に的確に対応し、良質な行政サービスが迅速に提供できる組織体制の最適化を図ります。
	項目	① 人件費の適正化 P 14
		② 職員採用試験の多様化 P 15
		③ 本庁と振興局と出張所の業務のあり方と組織の再編の検討 P 16
		④ 女性職員の活躍の推進 P 17
推進項目 (3) 働き方改革の推進	概要	長時間労働の是正や仕事と家庭の両立支援など働きやすい環境づくりを整えることにより、誰もがワークライフバランスを実現できる職場環境を醸成します。
	項目	① 長時間労働の是正 P 18
		② 仕事と家庭の両立支援 P 19

## 基本方針 2 持続可能な財政運営の確立 【財政運営の改革】

推進項目 (1) 計画的な財政運営	概要	中長期的な視点に立った財政見通しのもと、事業の選択と集中により事業の重点化を図り、将来世代に過度な負担を残さないよう計画的な財政運営を推進します。
	項目	① 新たな予算編成方針の導入 P 21
		② 特定目的基金の活用 P 22
		③ 市債残高の削減 P 23
推進項目 (2) 財源の積極的確保	概要	市税等の徴収率向上のほか、各種広告資産の活用、ふるさと納税のPR等により財源の確保に積極的に取り組みます。
	項目	① さらなる税収の確保 P 24
		② 有料広告事業等の推進 P 25
		③ ふるさと納税の推進 P 26
		④ 企業版ふるさと納税の推進 P 27
推進項目 (3) 負担の公平性確保	概要	使用料・手数料については住民負担の公平性と受益者負担の原則に基づき、行政サービスコストの抑制にも留意しながら、他市の状況等も踏まえ、料金及び減免基準の見直しなどに向けた検討を行います。また、税負担の公平性と税務行政への信頼を確保するため、適正な課税に努めます。
	項目	① 使用料・手数料の見直し P 28
		② 課税客体の的確な把握と適正な課税 P 29
		③ 税外未収債権の管理強化 P 30

推進項目 (4) 特別会計・公営企業会計の健全化	概要	各特別会計・公営企業会計も同様に行財政改革に取り組み、業務の効率化や受益者負担の適正化などに取り組むことにより健全化を図り、一般会計からの繰出金の縮減に努めます。
	項目	① ケーブルテレビ事業の見直し P 31 ② 水道事業の経営の健全化 P 32 ③ 下水道関係事業会計（企業会計・特別会計）の施設維持管理費の平準化 P 33

### 基本方針 3 公共施設等マネジメントの推進 【公共施設の改革】

推進項目 (1) 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止	概要	将来の人口動向や地域特性を考慮しながら、佐伯市公共施設等総合管理計画を推進し、既存施設の複合化、集約化、廃止等を計画的に取り組み施設総量の適正化を図ります。また定期的な点検・診断及び計画的な維持修繕を実施し長寿命化を推進します。
	項目	① 観光施設の見直し P 35 ② 各種体育施設の統廃合 P 36 ③ 高齢者福祉施設の統廃合 P 37 ④ 社会教育施設の統廃合 P 38 ⑤ 学校給食調理場の統廃合 P 39 ⑥ 公営住宅等の管理戸数適正化 P 40 ⑦ 旧消防団機庫の地区譲渡又は解体 P 41 ⑧ 橋梁等の計画的な長寿命化の推進 P 42 ⑨ 公園施設の計画的な長寿命化等の推進 P 43 ⑩ 計画的保全による林道施設等の長寿命化 P 44 ⑪ 計画的保全による漁港施設等の長寿命化 P 45 ⑫ 学校施設の計画的な長寿命化の推進 P 46 ⑬ 消防車両の更新時期の見直し P 47 ⑭ 防火水槽の維持補修の最適化・効率化 P 48 ⑮ 保健福祉総合センター「和楽」の機能見直し P 49 ⑯ 各保健センターの管理体制の見直しと有効活用 P 50
推進項目 (2) 公共施設等の有効活用	概要	公共施設等の有効活用（施設転用、民間貸与、売却等）することにより施設経費の削減及び収入の確保に努めます。
	項目	① 公有財産の利活用 P 51 ② 普通財産の処分に向けた取組 P 52

### 基本方針 4 行政の質と生産性向上 【業務の改革】

推進項目 (1) 市民サービスの維持・向上	概要	市民生活に関連の深い窓口業務におけるサービスの向上、各種申請・届出などの行政手続きの利便性向上などに取り組み、市民満足度の高いサービスの提供を目指します。
	項目	① 窓口業務の質の向上 P 55 ② I C Tを活用した電子手続き等の拡充 P 56 ③ 市広報媒体の効率的・効果的な活用 P 57

推進項目 (2) 事務事業の見直し・最適化	概要	業務内容が増大する中で適切な選択と集中を図るため、各種事務事業について、目的や必要性などを総合的に判断した上で、整理・再編・効率化等の見直しを進め、より効果的で効率的な事業の選択を図ります。
	項目	① TV会議システムを活用した振興局の窓口業務改善 P 58
		② 小・中学校の適正規模の検討 P 59
		③ 幼児教育における公立幼稚園の方向性の検討 P 60
		④ 公立保育所及びこども園の業務効率化や民間活用の検討 P 61
		⑤ へき地診療所のあり方の検討 P 62
		⑥ 公用自動車の適正配置及びリース化 P 63
		⑦ 消耗品の一括管理 P 64
		⑧ 会計事務の見直し P 65
		⑨ ペーパーレス化に向けた事務改善 P 66
⑩ 選択と集中による行政サービスの最適化 P 67		
推進項目 (3) 業務の生産性向上	概要	限られた職員で必要とされる行政サービスを持続的かつ効果的に提供していくために、BPR手法を用いた業務プロセス見直しや、RPA(業務自動化)・ICT(情報通信技術)等を有効活用することにより業務の効率化及び改善を図り生産性を高めます。
	項目	① B P R手法を用いた業務改善 P 68
		② A I及び R P Aの導入による業務の効率化 P 69
③ 給与支払報告書の電子化 (eLTAXでの提出)の推進 P 70		
推進項目 (4) 民間活力の積極的活用	概要	行政サービスの向上と効率化を図るため、効果の見込める分野への民間委託を積極的に進めていきます。また、指定管理者制度や民間の資金・ノウハウを活用したPPP/PFI手法の活用など検討し、公民連携の推進を図ります。
	項目	① 家庭ごみの有料戸別収集等のあり方検討 P 71
		② エコセンター番匠ごみ搬入窓口業務の民間委託 P 72
		③ 食のまちづくり推進事業の民間委託 P 73
		④ ふるさと納税事務の民間委託 P 74
		⑤ 地域包括支援センターの民間委託 P 75
		⑥ 下水道施設の包括的民間委託 P 76
⑦ P P P / P F Iの推進 P 77		
推進項目 (5) 協働社会の構築と圏域行政の推進	概要	地域課題や多様なニーズに対応するため行政、民間(企業)、市民のそれぞれの役割分担を明らかにした上、相互の連携を図り、対等なパートナーとして共にまちづくりを担う協働型社会の実現を目指します。また、県や周辺市町村との連携による圏域行政の可能性も積極的に検討します。
	項目	① 新たな住民自治組織のあり方について P 78
		② 地域に根差した市民協働体制の構築 P 79
		③ クラウドファンディング活用型まちづくりファンドの構築 P 80
		④ 災害時に生きるネットワークづくり P 81
⑤ 県下消防指令業務の共同運用 P 82		



佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	1	職員の意識改革と組織力の向上	推進項目	(1)	人材育成と職員の意識改革
------	---	----------------	------	-----	--------------

実施項目	①	人材育成の推進	担当課	総務課		
			関係課	全庁		
現状・課題	人財育成基本方針に基づき、高い倫理観と的確な問題解決能力を身に付け、市民との信頼関係を築きながら、業務全体を見通した事務事業の改善・改革を積極的に進めていく職員の育成を目指している。しかし、限られた職員で市民サービスの充実と市政の発展に取り組むということは容易ではなく、職員一人当たりの業務量が増加している。					
実施内容	人財育成基本方針の改訂及び適正な運用を行うとともに、より専門性の高い職員を育成するため、研修機関や県との人事交流等を活用して職員研修の充実を図る。また若手職員の育成を図るため、新入職員を配置する職場の整理やサポーター制度の継続、適正なジョブローテーションを行う。					
目標指数			現状値	令和元年度	-	
			目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人財育成基本方針の改訂	●-----●				
職員研修の充実	●-----●				●
若手職員の育成	●-----●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①8月末までに職員意識調査を実施し、意見を分析・反映させた改訂(案)の作成を行い、3月議事に報告したうえで新人財育成基本方針を策定する。 ②大分県自治人材育成センター主催の階層別研修対象者の100%受講と受講管理を徹底する。また、職員自らが講師となる職員講座の充実と有効な実施方法の検討を行う。(上半期2回・下半期3回) ③新規採用職員サポーター制度の継続と、制度の周知強化を行う。(6月:意見交換会、7月:全庁周知、10月:制度見直し)また、採用5年目までの必須受講研修の検討を行う。
中間報告	①8月末までに職員へ職員意識調査を実施し、意見を分析・反映させた改定(案)の作成を進めている。 ②大分県自治人材育成センター主催の階層別研修を対象者57名のうち54名が受講。(受講率94.7%)業務等により受講できなかった者は、令和3年度の受講を促す。職員講座2回実施。(計61名参加) ③新規採用職員サポーター制度の継続と、制度の周知を行った。(6月:意見交換会実施、7月:全庁周知)。採用5年目までの必須受講研修(自己管理・タイムマネジメント研修、事務処理マニュアル作成研修)に政策形成入門研修、女性職員キャリア支援研修の2研修を追加。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	人財育成基本方針の改訂については、再度、職員へ意見を求める等、調査結果を分析・反映した改訂(案)を作成し、3月議事に報告したうえで策定する。 職員講座については、下半期に3回実施する。 新規採用職員サポーター制度意見交換会を10月に実施し、必要があれば制度の見直しを行う。

本部評価	<input type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input checked="" type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	人材育成は重要な課題であるため、研修だけではなく、その他の手法も検討し、より成長出来るような取組を進めること。

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	1	職員の意識改革と組織力の向上	推進項目	(1)	人材育成と職員の意識改革
------	---	----------------	------	-----	--------------

実施項目	②	人事評価制度の活用	担当課	総務課	
			関係課	全庁	
現状・課題	地方自治体を取り巻く環境はめまぐるしく変化し、行政需要は益々多様化、高度化、複雑化しており、市民と常に直接接している市の果たす役割は極めて重大になってきている。一方で、職員に課せられる業務量の増加、業務内容の質の変化への対応が求められている。				
実施内容	人事評価を活用した職員の育成と、適正な評価を行うことによりモチベーションアップを図り、組織全体の活性化を図る。評価結果について、令和2年度から段階的に給与へも反映する。また、人事評価制度に関する研修の中で、業務改善につながる内容を取り入れ、職員一人一人が、業務改善を意識した目標設定を行う。				
目標指数	人事評価結果の給与反映	現状値	令和元年度	0%	
		目標値	令和6年度	100%	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人事評価制度の活用	●				●
人事評価結果の段階的な給与への反映	●				●

【令和2年度 実施内容】

年度目標	①人事評価制度の活用 「第2次佐伯市総合計画の基本指針」及び「行政経営推進プランの実施項目」を人事評価の目標として設定する。 ②人事評価結果の段階的な給与反映 管理職職員の12月の勤勉手当から人事評価結果を反映する。
中間報告	①人事評価制度の活用 研修及び目標設定揭示の際に、「第2次佐伯市総合計画の基本指針」及び「行政経営推進プランの実施項目」を人事評価の目標として設定するよう全職員に周知し、実施した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	管理職職員の12月の勤勉手当から人事評価結果を反映する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	1	職員の意識改革と組織力の向上	推進項目	(1)	人材育成と職員の意識改革
------	---	----------------	------	-----	--------------

実施項目	③	職員の意識改革	担当課	総務課		
			関係課	全庁		
現状・課題	少子高齢化が進み、今まで以上に行政へのニーズが高まる中、一人当たりの業務量はますます増えている。限られた職員で市民サービスの充実と市政の発展に取り組むためには、より一層の業務の見直しと事務の効率化が求められる。職員一人一人が、これまでの考え方から、常に改善意識を持ち、積極的に効率化を進めていくことが必要になる。					
実施内容	研修機関等を活用した創造力、企画力、課題解決力等を磨く研修及び業務改善につながる独自研修を実施し、市民サービスの充実と市政の発展に取り組みながら、常に『コスト意識』を持ち、自ら実践する職員の育成を目指す。また人事評価及び職員調書等を活用した人事を行い、職員のモチベーションを高めていく。					
目標指数	大分県自治人材育成センター主催「業務遂行能力研修(自己管理・タイムマネジメントほか13研修)」の受講率(副主幹以下)		現状値	令和元年度	2.8%	
			目標値	令和6年度	25.0%	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
研修の実施	●				●
人事評価及び職員調書等の活用	●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	【上半期】 ①大分県自治人材育成センター主催「業務遂行能力研修」の周知をおこない、受講を促進する。 【下半期】 ①大分県自治人材育成センター主催「業務遂行能力研修」の周知をおこない、受講を促進する。 ②業務遂行能力研修受講者の人事評価(能力)結果にて、意識改革につながっているかを分析する。 ③職員調書等を活用した人事をおこなう。
中間報告	【上半期】 ①大分県自治人材育成センター主催「業務遂行能力研修」の周知をおこない、受講を促進。4研修を副主幹級以下11名が受講。(受講率4.5%) ※昨年度上半期実績:3研修5名
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	大分県自治人材育成センター主催「業務遂行能力研修」の周知をおこない、受講を促進する。受講者の人事評価(能力)結果にて、意識改革につながっているかを分析する。職員調書等を活用した人事をおこなう。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	1	職員の意識改革と組織力の向上	推進項目	(2)	組織体制の最適化
------	---	----------------	------	-----	----------

実施項目	①	人件費の適正化	担当課	総務課	
			関係課	財政課・行政マネジメント課	
現状・課題	行政需要に対応するため、多様な任用形態の職員(正規職員・再任用職員・任期付職員・臨時職員・嘱託職員)を配置しており、再任用職員については雇用と年金の接続を図るため年々増加している。限られた財源の中で最大限の効果を発揮できるよう、職員の任用形態、再任用職員を活用した定員管理など、人件費の適正化が求められている。				
実施内容	人件費の適正化を図るために、職員の任用形態など適正配置を検討し、中長期的な視点から定員管理計画の見直しを行い、令和3年度から職員の削減を図る。また再任用職員の更なる活用と職員数の適正管理を図るため、令和3年度から新たに再任用となる職員をフルタイム化する。				
目標指数	職員数(正職員、再任用職員) 職員総数(正職員、再任用職員、臨時・嘱託職員)		現状値	令和元年度	952人・1,421人
			目標値	令和6年度	926人・1,347人

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
職員の適正配置	●-----●				●
定員管理計画の見直し	●-----●				
職員数の削減		●-----●			●
再任用職員のフルタイム化		●-----●			●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	<p>【上半期】</p> <p>①行政経営推進プランでの職員総数の範囲内で組織の見直しを行い、人件費の適正化を図る。</p> <p>②令和3年度の再任用希望職員の調査</p> <p>【下半期】</p> <p>③令和3年度の新規採用職員数の決定</p> <p>④組織改編に伴う令和3年度の職員配置の適正化</p> <p>⑤定員管理計画の見直し</p>
中間報告	<p>①組織改編に伴う各課からのヒアリングを8月に実施し、令和3年度の組織機構改編(案)を作成した。</p> <p>②令和2年度定年退職予定の職員(20人)に対し5月、7月の2回希望調査を実施した。また、更新可能な再任用職員(34人)にも同様の調査を7月に実施した。</p> <p>※再任用職員は現行とおりの短時間勤務を基本とし、令和3年度の一斉フルタイム化は行わないことを、佐伯市職員人事協議会において決定した。</p>
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	<p>①～④12月末までに令和3年度の組織機構を決定し、令和3年度の職員配置の適正化を図る。</p> <p>⑤定員管理計画の見直しを行う。</p> <p>プランどおりの総職員数削減を行いながら、再任用職員の任用形態は職の整理及び人材活用という視点で検討を行う。</p>

本部評価	<input type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input checked="" type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	職員数の削減を進めると同時に事業(業務)の整理も進めること。

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	1	職員の意識改革と組織力の向上	推進項目	(2)	組織体制の最適化
------	---	----------------	------	-----	----------

実施項目	②	職員採用試験の多様化	担当課	総務課	
			関係課		
現状・課題	公務員を志望する者が減少傾向にあり、本市も年々正規職員の採用試験受験者が減少し、採用できない職種もある。また、専門的な職種は即戦力として高い専門性や経験が求められるため、人材の確保が厳しい状況にある。				
実施内容	受験者数を増やし、一定水準以上の競争率を確保するため、夏期試験と秋期試験を実施する。また、採用できない職種の確保を図るため通年募集の実施や、専門職については職務の内容や性格に応じ、任期付職員及び会計年度任用職員を活用する。				
目標指数	採用試験受験倍率	現状値	令和元年度	8.0倍	
		目標値	令和6年度	10.0倍	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
夏季試験と秋季試験の実施	●				●
通年募集の実施	●				●
任期付職員及び会計年度任用職員の活用	●				●

【令和2年度 実施内容】

年度目標	<p>【上半期】</p> <p>①夏期試験の早期実施 前年度から実施している夏期試験を5月から7月(前年度は6月から8月)にかけて実施し、7月中に合格決定する。</p> <p>【下半期】</p> <p>②夏期及び秋期試験で採用できなかった職種(専門職等)については、試験終了後も通年募集する。</p> <p>③専門職については、職務の内容等に応じ、任期付き職員及び会計年度任用職員の活用を検討する。</p>
中間報告	<p>①夏期試験を5月に実施するように公募を開始したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、第1次試験を6月に延期して実施。これにより、第2次試験を8月に実施したため、合格決定は、8月となった。</p> <p>受験倍率(夏期)…全体で16.2倍</p> <p>②夏期試験において、事務職は予定人員を確保できた。一部専門職については確保できていない。</p>
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	<p>②夏期において採用できなかった一部専門職と、秋期試験において採用できない職種が発生した場合には、その職種をあわせて追加募集する。</p> <p>③追加募集でも採用できなかった場合は、職務の内容等に応じ、任期付き職員及び会計年度任用職員の活用を検討する。</p>

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	1	職員の意識改革と組織力の向上	推進項目	(2)	組織体制の最適化
------	---	----------------	------	-----	----------

実施項目	③	本庁と振興局と出張所の業務のあり方と組織の再編の検討	担当課	行政マネジメント課		
			関係課	各振興局・地域振興課		
現状・課題	振興局が地域特性を生かし、より効果的な地域づくりができるように、地域の拠点としての役割を担う一方、維持管理経費、利用状況なども勘案しながら、今後の振興局や出張所のあり方について議論を重ね、行政サービスの向上と効率化に向けて、検討を行う必要がある。					
実施内容	将来を見据えた組織体制の構築を図るうえで、今後の本庁と振興局と出張所の業務のあり方と組織の再編について検討を行う。					
目標指数	-		現状値	令和元年度	-	
			目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
振興局・出張所業務の現状把握	●	●			
業務の本庁集約の検討		●	●		
本庁と振興局と出張所のあり方検討			●	●	
組織の再編の検討				●	●

【令和2年度 実施内容】

年度目標	①4月末までに全庁を対象とし、「事務分掌表」「事務説明書」の提出を求める。 (再任用職員、会計年度任用職員、嘱託職員を含む) ②5月末までに全振興局を視察する。視点は業務の簡素化・効率化 ③8月までに効率化業務の洗い出しを行い、次年度の組織改編の参考とする。
中間報告	①4月に全庁を対象とし、「事務分掌表」「事務説明書」の提出を求めた。 (再任用職員、会計年度任用職員、嘱託職員を含む) ②5月に全振興局の業務量を調査し、業務の簡素化・効率化を図るという観点で協議をおこなった。また全出張所の在り方について協議を行った。 ③上記協議内容を踏まえ、令和3年度組織改編(案)を作成した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	全出張所の業務の把握と分析を行う。また、本庁へ集約する業務の調査を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	1	職員の意識改革と組織力の向上	推進項目	(2)	組織体制の最適化
------	---	----------------	------	-----	----------

実施項目	④	女性職員の活躍の推進	担当課	総務課		
			関係課	全庁		
現状・課題	監督職(総括主幹)以上の登用については男女を問わず、経験と能力により行っている。しかしながら、対象年代の女性職員の割合が少なく、結果として、監督職以上の職についている女性職員の割合が高くないのが現状である。男女問わず優秀な人材を活用し、多様な視点加わることにより新たな価値やサービスが創造されるためにも今後女性職員のさらなる活躍は必須である。					
実施内容	女性職員が働きやすい職場環境の整備に努めるとともに、ワークライフバランスを考慮したキャリアアップ研修の充実を図る。また、女性職員の職域の拡大を図っていく。					
目標指数	総括主幹以上における女性職員の割合	現状値	令和元年度	13.5%		
		目標値	令和6年度	17.0%		

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
公正公平で積極的な職員の登用	●				●
キャリアアップ研修の実施	●				●
働きやすい環境整備	●				●
職域拡大の実施	●				●

【令和2年度 実施内容】

年度目標	大分県自治人材育成センター主催の「女性職員キャリア支援研修」の受講を、採用後5年以内に必須とする。また、同センター主催の「女性活躍推進セミナー」については総括主幹(男女問わず)の必須研修とし、女性職員が働きやすい職場環境の整備に努める。
中間報告	大分県自治人材育成センター主催の「女性職員キャリア支援研修」の受講を、採用5年目までの必須受講研修の中に追加した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	今後、大分県自治人材育成センター主催の「女性活躍推進セミナー」については、総括主幹(男女問わず)の必須研修とし、女性職員が働きやすい職場環境の整備に努める。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	1	職員の意識改革と組織力の向上	推進項目	(3)	働き方改革の推進
------	---	----------------	------	-----	----------

実施項目	①	長時間労働の是正	担当課	総務課	
			関係課	全庁	
現状・課題	近年様々な行政課題や社会情勢により業務量が複雑化かつ増大している。そのため、時間外勤務も増加し、職員にかかる負担も増加傾向にあることから、業務の効率化を図りこれを改善する必要がある。				
実施内容	各所属での業務の把握、進捗管理ができる体制を整え、適切な時間外勤務命令を徹底する。ノー残業デーやロー残業デーなどの取組を行い、時間管理の意識の向上を図り、月45時間以内、年360時間以内を徹底するとともに、時間外勤務の見える化を行う。また勤務終了時に終礼を実施し、業務の進捗状況を係内で共有するとともに、定時退庁を促す。				
目標指数	時間外勤務時間数が年360時間以上の職員数	現状値	平成30年度	44人	
		目標値	令和6年度	0人	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ノー残業デー(毎週水曜日/17時30分までの退庁)の徹底	●				●
ロー残業デー(毎週金曜日/20時までの退庁)の徹底	●				●
時間外勤務の見える化	●				●
終礼の実施	●				●

【令和2年度 実施内容】

年度目標	以下の取り組みを行い、総時間外勤務時間(令和2年度避難指示の発令に伴う災害対応、選挙や国勢調査などの大規模な調査を除く)を前年比5%削減する。 【上半期】 ①ノー残業デー、ロー残業デーの周知徹底：掲示板等で繰り返し周知する。 ②時間外勤務の見える化：各課の時間外勤務の状況が確認できるよう、四半期ごとの実績を掲示板等に掲示する。 ③終礼の実施：業務の進捗状況を共有し、定時退庁を促すために5月から各部署で実施する。 【下半期】 ①～③の取り組みを継続 ④時間外勤務を削減する効率的な取り組みを模索する。
中間報告	①ノー残業デー、ロー残業デーの周知徹底のため、掲示板等で繰り返し周知した。 ②時間外勤務の見える化への取組として、各課の時間外勤務の状況が確認できるよう、四半期ごとの実績を掲示板等に掲示して見える化を図った。 ③5月から各所属で終礼の実施に取り組んでいる。(9月末現在の実施率は70.2%)  (上半期実績) R1:32,831時間 R2:30,033時間(8.5%減)
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	①周知の徹底を継続していく。 ②今後も継続して、四半期ごとの実績を掲示板等に掲示する。 ③終礼未実施の職場に対して指導を行い、実施率100%を達成する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	1	職員の意識改革と組織力の向上	推進項目	(3)	働き方改革の推進
------	---	----------------	------	-----	----------

実施項目	②	仕事と家庭の両立支援	担当課	総務課		
			関係課	全庁		
現状・課題	仕事と家庭の調和(ワークライフバランス)という視点から次世代育成支援に取り組んでいる。安心して子育てや介護ができる職場環境は、家庭生活を充実させ、職員が職務に集中でき、ひいては行政サービスや公務能率の向上につながるため、組織全体で男女問わず働きやすい職場環境を整えて、ワークライフバランスを実現することが必要である。					
実施内容	職場ごとに年次有給休暇の計画的な取得を促進する。平成30年度の男性職員の育児休業取得率は3.7%、全国的には平成29年度は5.14%であり、政府は2020年度には13%を目指しているため、本市でも取得を促進し13%を目指す。また、早出・遅出勤務について職員アンケートを実施するなど、職員の意見を聞き、働きやすい環境整備を行う。					
目標指数	年次有給休暇の年間平均取得日数 男性の育児休業取得率		現状値	平成30年度	8.3日・3.7%	
			目標値	令和6年度	14日・13%	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年次有給休暇の取得促進	●				●
男性職員の育児休業の取得促進	●				●
働きやすい環境整備	●				●

【令和2年度 実施内容】

年度目標	<p>【上半期】</p> <p>①職員に働き方に関するアンケートを実施</p> <p>②年次有給休暇の取得促進を図るため、繰り返し掲示板等で周知</p> <p>【下半期】</p> <p>③育児休業取得の手引きを改定し、職員へ周知</p> <p>④アンケートの結果に基づき働きやすい環境整備の検討</p>
中間報告	<p>①令和2年度職員意識調査にて、働き方に関するアンケートを実施した。</p> <p>②年次有給休暇の取得促進のため、夏季休暇の取得と合わせて掲示板で周知した。年次有給休暇の9月末現在の取得日数は1人当たり7日であった。</p>
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	<p>②年次有給休暇の取得促進を図るため、繰り返し掲示板等で周知する。</p> <p>③育児休業取得の手引きを改定し、職員へ周知する。</p> <p>④アンケートの結果に基づき働きやすい環境整備のため、流動的な勤務時間、休暇を取得しやすい環境整備について検討していく。</p>

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

# 佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン)基本方針別進捗管理とりまとめシート(中間)

## 基本方針2 持続可能な財政運営の確立

No	推進項目 実施項目	担当課	計画最終 目標年度	①自己評価 令和2年度中間	②行財政改革推進本部評価等
1	計画的な財政運営 新たな予算編成方針の導入	財政課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
2	計画的な財政運営 特定目的基金の活用	財政課・会 計課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
3	計画的な財政運営 市債残高の削減	財政課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
4	財源の積極的確保 さらなる税収の確保	収納課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
5	財源の積極的確保 有料広告事業等の推進	行政マネジ メント課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
6	財源の積極的確保 ふるさと納税の推進	ブランド推 進課	令和6年度	計画通り	指摘あり(進捗管理シート参 照)
7	財源の積極的確保 企業版ふるさと納税の推進	政策企画課	令和6年度	計画より早い	自己評価を支持
8	負担の公平性確保 使用料・手数料の見直し	財政課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
9	負担の公平性確保 課税客体的確な把握と適正な課税	課税課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
10	負担の公平性確保 税外未収債権の管理強化	収納課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
11	特別会計・公営企業会計の健全化 ケーブルテレビ事業の見直し	情報推進課	令和6年度	計画より早い	自己評価を支持
12	特別会計・公営企業会計の健全化 水道事業の経営の健全化	営業課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
13	特別会計・公営企業会計の健全化 下水道関係事業会計(企業会計・特別会計)の施設維持管 理費の平準化	下水道課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持

### ①自己評価(令和2年度中間)まとめ

評価区分	計画数	割合
達成	0	0%
計画より早い	2	15%
計画通り	11	85%
計画より遅れている	0	0%
再検討	0	0%
未着手	0	0%
中止	0	0%
計	13	100%

中間報告まとめ
13計画のうち、85%の11計画は、計画通りに取り組んでいる。また、以下の2計画については、計画以上のペースで取り組めており、今後も引き続き計画を推進していく。
・No7「企業版ふるさと納税の推進」・・・令和2年度に市HP等で周知を行い、募集を開始した。毎年1件程度の寄附を想定していたが、9月までにすでに2件の寄附をいただくことが出来た。
・No11「ケーブルテレビ事業の見直し」・・・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が活用できることから、令和3年度以降のケーブルテレビ光化更新工事を前倒して実施することとなった。

### ②行財政改革推進本部評価まとめ

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	12	92%
指摘あり	1	8%
計	13	100%

行財政改革推進本部意見
・No6「ふるさと納税の推進」・・・内容も重視して、市のファンを増やすような取組を進めること。また民間委託など様々な手法も検討し、さらなる寄附金の獲得を進めること。

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	2	持続可能な財政運営の確立	推進項目	(1)	計画的な財政運営
------	---	--------------	------	-----	----------

実施項目	① 新たな予算編成方針の導入	担当課	財政課		
		関係課			
現状・課題	自主財源の増額確保が難しい本市において、歳入の最も大きな割合を占める普通交付税は、人口減少により今後もさらなる減少が見込まれる。歳出は、人件費や維持管理費等の経常経費が増加するとともに、公共施設等の更新費用も増加が見込まれるため、財政調整用基金を取り崩しつつ、財政運営を行わなければならない状況である。				
実施内容	現在行っている各課からの積上げ方式の予算編成を廃止する。今後は中期財政収支の試算から歳入に応じた一般財源ベースのフレームにて各部局に予算を配分し、限られた財源のなかで各部局の主体的な予算編成を行い歳出の削減を図る。				
目標指数	財政調整用基金保有残高	現状値	令和元年度	120億円	
		目標値	令和6年度	70億円	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
中期財政収支の試算	●				●
新たな予算編成方針の導入	●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①令和2年7月から、令和元年度決算をうけて中期財政収支の再試算を行う。 ②令和3年度当初予算編成においても引き続き枠配分方式を実施し、一般財源の支出の抑制を図る。
中間報告	①令和元年度決算をうけ、また、新型コロナの影響等を勘案しながら、現在、中期財政収支の再試算の作業中である。 ②令和2年7月14日の部長会議において、令和3年度当初予算編成においても、歳出の削減を図るため、引き続き枠配分方式を実施する旨周知した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	①10月下旬を目途に中期財政収支の再試算を完了予定。 ②令和3年度当初予算編成においても引き続き枠配分方式を実施し、一般財源の支出＝財政調整用基金取り崩しの抑制を図る。10月中に各部局へ枠配分額等を通知する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	2	持続可能な財政運営の確立	推進項目	(1)	計画的な財政運営
------	---	--------------	------	-----	----------

実施項目	②	特定目的基金の活用	担当課	財政課・会計課		
			関係課	特定目的基金 保有課		
現状・課題	財政状況については、市町村合併後、黒字決算を続けていたが、平成28年度から財政調整用基金を取り崩す状況になり、それ以降、取崩額の拡大が続いている。安定的な財政運営を続けるために、一般財源の支出の抑制を図る必要がある。					
実施内容	市民サービスを保ちつつ一般財源の支出の抑制を図るため、特定目的基金を計画的に活用する。さらに基金の一括運用により弾力的な活用を行う。					
目標指数	—		現状値	令和元年度	—	
			目標値	令和6年度	—	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
特定目的基金の活用	●				●
基金の一括運用	●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	<p>①令和2年度第1四半期から基金の一括運用(※)を開始する。 ②まちづくり整備基金、地域振興基金及び地域福祉基金を活用(令和2年度当初予算計上額:合計884,988千円)し、一般財源の支出の抑制を図る。</p> <p>※一括運用・・・運用収益の最大化を図ることを目的として、各基金に属する現金の残高を一つに取りまとめ、運用を図ること。</p>
中間報告	<p>①令和2年6月から基金の一括運用を開始した。 ②まちづくり整備基金、地域振興基金及び地域福祉基金を活用(令和2年度9月補正後予算額:合計883,478千円)し、一般財源の支出の抑制を図る。</p>
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	特定目的基金の計画的な運用により、一般財源の支出の抑制を図る。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	2	持続可能な財政運営の確立	推進項目	(1)	計画的な財政運営
------	---	--------------	------	-----	----------

実施項目	③	市債残高の削減	担当課	財政課		
			関係課	全庁		
現状・課題	市債残高は、市町村合併時に700億円超あったが、投資的経費の抑制基調を堅持し、平成30年度末時点で約493億円まで残高を削減することができた。しかしながら、いまだに類似団体と比較して市債残高は多額であり、削減は必須である。					
実施内容	合併特例債が終了の時期を迎え、地方債の交付税措置率の高い有利な財源に限りがあることから、事業の選択と集中により事業規模を段階的に縮減し、市債発行の抑制に努め将来的な市債残高の削減を図る。					
目標指数	市債残高	現状値	平成30年度	493億円		
		目標値	令和6年度	400億円以下		

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
中期財政収支の試算	●				●
投資的経費の抑制	●				●

【令和2年度 実施内容】

年度目標	①令和2年7月から、令和元年度決算をうけて中期財政収支の再試算を行う。 ②令和3年度当初予算編成においても引き続き枠配分方式を実施し、事業の選択と集中により市債発行の抑制を図る。
中間報告	①令和元年度決算をうけ、また、新型コロナの影響等を勘案しながら、現在、中期財政収支の再試算の作業中である。 ②令和2年度当初予算編成から枠配分方式を実施したことで、事業の選択と集中により市債発行の抑制を図っている。ただし、令和元年度、2年度は大手前開発事業等の大型事業の影響で市債残高が一時的に増加するが、令和3年度以降は減少に転じる見込みである。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	①10月下旬を目途に中期財政収支の再試算を完了予定。 ②令和3年度当初予算編成においても枠配分方式を実施し、事業の選択と集中による市債発行の抑制を図る。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	2 持続可能な財政運営の確立	推進項目	(2) 財源の積極的確保
------	----------------	------	--------------

実施項目	① さらなる税収の確保	担当課	収納課		
		関係課			
現状・課題	市税徴収率の過去3か年の実績は、(平成28年度)98.80%、(平成29年度)98.74%、(平成30年度)98.99%と推移している。今後も財源確保と納税者の公平を保つため、更なる徴収率の向上に努める必要がある。				
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●滞納整理の強化</li> <li>●差押財産の換価</li> <li>●徴収職員の技能向上のための各種研修会への参加</li> </ul>				
目標指数	市税徴収率	現状値	平成30年度	99.0%	
		目標値	令和6年度	99.3%	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
滞納整理強化	●				●
差押財産の換価	●				●
各種研修会参加	●				●

【令和2年度 実施内容】

年度目標	①財産調査を行った高額案件の完結を推進するためヒアリング・進行管理を行う。 ②滞納整理を推進し、9月末・3月末・翌5月末の現滞合計徴収率を前年同時期より上昇させる。 ③9月末までに職員3名以上が滞納整理の研修会に参加し、滞納整理の技能・意識を係内で共有していく。
中間報告	①財産調査を行った高額案件について、県の特別滞納整理室の派遣職員に指導をしてもらい、処分方針の決定、進行管理を行っている。 ②9月末の市税徴収率は、前年同月に比べ 0.13 %の上昇。 ③県の主催する徴収カレッジに5名が参加し、得た知識を日々の業務に還元している。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	①引き続き高額案件の処分方針を定め完結に向けて進行管理を行う。 ③県や他市で行われる研修会に積極的に参加し、情報収集、知識の向上に努める。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	2 持続可能な財政運営の確立	推進項目	(2) 財源の積極的確保
------	----------------	------	--------------

実施項目	② 有料広告事業等の推進	担当課	行政マネジメント課		
		関係課	全庁		
現状・課題	印刷物や公共施設等の広告媒体となり得るものについて、現在も有料広告(ネーミングライツや市報など)や無償での印刷物の作成などを実施しているが、さらなる財源の確保の可能性と実施に向けた検討が必要である。				
実施内容	市の保有する資産等について、民間事業者などからも広くアイデアを募ったうえで、効果的な広告媒体となり得るものを検討し、新たな財源の確保や経費の削減を図る。				
目標指数	広告料収入	現状値	平成30年度	52万円	
		目標値	令和6年度	600万円	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
企画提案型広告の検討・実施	●-----●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①4月末までに現在のネーミングライツ・パートナーの取組みについて関係課から状況をヒアリングし、取りまとめを行う。 ②新たな広告導入可能な事例の検討を行う。 ③3月までに企画提案型の取組みを実施している自治体の事例などの調査・研究を行う。
中間報告	①現在実施しているネーミングライツ・パートナー(佐伯市総合運動公園内施設・佐伯市立佐伯図書館及び管内施設)の状況について、関係課から聞き取りを行い、今後の事例の参考にするために募集から決定までの手順を整理し、取りまとめを行った。 ②新たな広告として、指定ごみ袋への広告掲載(200千円×2枠)を実施した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	引き続き新たな広告の検討・導入を進める。また、企画提案型の取組について、他団体の事例などの調査・研究を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	2 持続可能な財政運営の確立	推進項目	(2) 財源の積極的確保
------	----------------	------	--------------

実施項目	③ ふるさと納税の推進	担当課	ブランド推進課		
		関係課			
現状・課題	ふるさと納税は平成29年度に約13億5千万円を集めたが、平成30年度は約8億8千万円に減少している。令和元年度は、地方税法に募集の方法や返礼品の基準等が規定され、従前のように返礼品を前面に出してふるさと納税を集めるといことができなくなった。そのため、令和元年6月1日以降は寄附が伸び悩んでいる状況である。				
実施内容	返礼品は寄附金額の3割以内と定められたことから、より返礼品の質が問われている。事業者と協力し、より魅力ある返礼品にするため、返礼品の磨きこみを行っていく。さらに、寄附金の「使い道」をより具体的に事業化し、その事業に共感した方から寄附を募るGCF(ガバメントクラウドファンディング)を積極的に用い、政策でも寄附を集める。				
目標指数	ふるさとさいき応援寄附金額 (令和2年から6年度までの5ヶ年累計)	現状値	令和元年度	—	
		目標値	令和6年度	50億円(累計)	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
魅力ある返礼品への磨きこみ	●-----●				●
GCFによるふるさと納税の募集	●-----●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①返礼品の磨きこみのため、上半期に事業者協議会の場で講師を招いた研修を2回行う。 ②GCF実施に向けて、各補正予算編成時に該当事業の有無について関係課と協議を行う。  ※GCF(ガバメントクラウドファンディング)・・・自治体などが事前に事業資金の用途を限定し、協同者から寄附金を募集する仕組み。税金の控除が受けられるふるさと納税制度とクラウドファンディングを組み合わせたもので、従来制度よりも幅広い用途で資金を利用できるという利点がある。
中間報告	①新型コロナウイルス感染拡大予防のため、事業者協議会の研修については実施しなかった。また、例年開催されるふるさと納税PRイベント等も中止されたので、上半期では、返礼品の魅力をPRするため、事業者の動画制作を実施したほか、ふるさと納税のインターネット広告を行った。また、ふるさと納税先進地職員を招き、実務担当者との意見交換を図ったほか、職員向けの研修会も実施した。 ②GCFは各補正予算編成時に関係課と協議を行ったが、該当事業がなく、実施出来ていない。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	①事業者協議会役員を訪問し、寄附金増加に向けた意見交換を行う。また、インターネット広告の効果进行调查し、より効果的な方法で実施できるよう検討する。 ②GCFについては、今後も補正予算及び令和3年度当初予算の編成時に関係課と協議し、該当事業があれば実施する。

本部評価	<input type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input checked="" type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	寄附金の獲得を目指すとともに、内容も重視して、市のファンを増やすような取組を進めること。また民間委託など様々な手法も検討し、さらなる寄附金の獲得を進めること。

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	2	持続可能な財政運営の確立	推進項目	(2)	財源の積極的確保
------	---	--------------	------	-----	----------

実施項目	④ 企業版ふるさと納税の推進	担当課	政策企画課		
		関係課			
現状・課題	平成28年度から、「企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)」が創設され、本市においても取組を行ったが、企業との調整が上手くいかず、現在までの実績は0件である。本制度は、地方創生に取り組む自治体に寄附した企業が税制上の優遇措置を受けられる制度であり、優遇措置の拡大も検討されていることから、企業への積極的なPRが必要である。				
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄附の対象となるプロジェクトの選定及び構築</li> <li>・地域再生計画の作成</li> <li>・本市の地方創生のプロジェクトを民間企業にアピールし、企業版ふるさと納税を推進</li> </ul>				
目標指数	企業版ふるさと納税の寄附件数	現状値	令和元年度	0件	
		目標値	令和6年度	5件	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
企業版ふるさと納税募集	●-----●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	<p>【上半期】市HP等の周知、募集チラシ作成 活用事業の選定及び企業のピックアップ</p> <p>【下半期】活用事業担当課と連携し、企業へ寄附募集のPR活動 R3以降の活用事業検討</p>
中間報告	4月からパンフレット掲載事業を選定し、5月までにパンフレット(案)を作成、7月に決定した。企業版ふるさと納税のコーナーを市HP上に作成、概要やパンフレット等を掲載し周知した。寄附意向があった企業(2社)から、8月に計200万円の寄附があった。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 計画より早い <input type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	関係課の企業訪問時にパンフレットを渡してもらうなど、下半期も引き続き寄附の募集を継続する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	2 持続可能な財政運営の確立	推進項目	(3) 負担の公平性確保
------	----------------	------	--------------

実施項目	① 使用料・手数料の見直し	担当課	財政課		
		関係課	全庁		
現状・課題	使用料・手数料(以下「使用料等」という。)は行政サービスに対する対価であるが、その金額の適正さに係る検討は十分に行われていない。財政状況の悪化や公共施設の老朽化等が進む中、安定したサービスの提供を行うためには、受益者負担の原則に基づいた使用料等の見直しが必要である。				
実施内容	各サービスや施設に係るコスト等をもとに、使用料等の適正な金額を試算する。試算や他団体の実施状況等をもとに改正対象となる使用料等を選定し、条例改正等の手続きを行う。なお、施設の使用料については、公共施設等総合管理計画における方向性(継続・統合・廃止等)を踏まえて実施する。				
目標指数	—	現状値	令和元年度	—	
		目標値	令和6年度	—	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
適正な使用料等の試算	●-----●				
改正する使用料等の選定		●-----●			
条例改正等の手続き			●-----●		
新使用料等の改定				●-----●	●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	適正な使用料等の試算を行うため、各施設における利用料及び各施設に係るコスト等の実態を把握する。 ①9月までに使用料等を徴収している施設の抽出を行う。 ②3月までに使用料等の試算の対象となる施設の一覧表を作成し、利用料及びコスト等の実態を調査する。
中間報告	①9月までに使用料等を徴収している施設の抽出を行った。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	②使用料等の試算の対象となる施設を抽出した一覧表を作成し、施設の利用料及びコスト等の実態把握を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	2 持続可能な財政運営の確立	推進項目	(3) 負担の公平性確保
------	----------------	------	--------------

実施項目	② 課税客体の的確な把握と適正な課税	担当課	課税課	
		関係課		
現状・課題	固定資産税の課税客体である家屋について、建築確認申請や工事届を提出していない未調査家屋が存在し、償却資産についても未申告等により、現況と固定資産課税台帳に差異が生じている。そのため、公正公平な課税を実現するため、照合調査が必須の課題となっている。			
実施内容	家屋は、平成28年度～令和2年度に家屋全棟調査を実施し、令和3年度の評価替えと併せて、課税を行う。償却資産については、令和元年度、県が実施する償却資産共同調査の実施団体となったことから、県の担当職員の協力を受け、佐伯税務署の申告書との照合作業を行うこととしている。			
目標指数	—	現状値	令和元年度	—
		目標値	令和6年度	—

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
家屋全棟調査 (令和3年度評価替えに反映)	●-----●				
佐伯税務署償却資産申告書との 照合作業(単独)	●-----●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①未評価家屋所有者へ、令和3年度から未評価家屋について課税する旨、当該家屋の評価額及び税額(概算)を記載した通知の発送を7月～12月にかけて行う。 ②税務署償却資産申告書の受領(6月)。償却資産申告書と税務署の申告書との照合、大きく乖離している事業所へ修正申告を要請、課税更正処理を随時実施する(7～12月)。
中間報告	①家屋全棟調査の結果、未評価家屋の令和3年度からの課税についてのお知らせ文書を9月末時点で7,500件発送を行った。 ②事業所への修正申告を要請した件数は9月末現在30件。それにより、約308万円の追徴課税を行った。佐伯市外に支店がある事業所については大分県・他市と共同での調査を行っている。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	①全体で約15,000件。残り約7,500件を10月から12月末にかけて送付を実施する。 ②引き続き、照合し、修正申告の要請を行うべき事業者への要請を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	2	持続可能な財政運営の確立	推進項目	(3)	負担の公平性確保
------	---	--------------	------	-----	----------

実施項目	③	税外未収債権の管理強化	担当課	収納課	
			関係課	市債権保有各課	
現状・課題	税外債権の管理については、民法・商法・民事執行法及び民事訴訟法の理解が必要であり、管理強化のためには、各課担当職員の債権管理(滞納整理)に対する知識や経験のさらなる習得が必須である。				
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●債権管理に必要な法令の研修と情報の提供</li> <li>●強制執行(差押)及び債権放棄の指導と助言</li> <li>●担当課と合同での滞納者との納付交渉</li> </ul>				
目標指数	—		現状値	令和元年度	—
			目標値	令和6年度	—

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
法令研修	●				●
強制執行及び債権放棄指導	●				●
納付交渉の指導	●				●

【令和2年度 実施内容】

年度目標	①9月末までに債権管理に必要な研修会を行い、年間を通して必要な情報(法令等)を提供していく ②9月末までに担当課(10課)のヒアリングを終了し、法令に順守した債権管理を指導して、対前年度より徴収率の上昇を目指す
中間報告	①ファイナンシャル・プランナーによる研修会への参加等、担当課へ債権管理に必要な情報を提供している。 ②債権管理の現状を確認するため、主要な担当課のヒアリングは終了した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	税金以外の未納料金の圧縮に努め、市民の公平性が保てるよう適正な債権管理の徹底を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	2 持続可能な財政運営の確立	推進項目	(4) 特別会計・公営企業会計の健全化
------	----------------	------	---------------------

実施項目	① ケーブルテレビ事業の見直し	担当課	情報推進課		
		関係課			
現状・課題	ケーブルテレビ事業は、使用料収入は少なく、職員の人件費を含めて一般会計の繰入金金が1億円以上と赤字経営が続いている現状がある。施設の老朽化の問題もあり、施設の更新は喫緊の課題である。				
実施内容	令和元年度プロポーザル方式による公募により、佐伯市全域の光化による施設の更新を計画。 (株)ケーブルテレビ佐伯に一部地域を民営化し、更新費用の減額や期間の短縮及び佐伯市の負担軽減を行う。				
目標指数	ケーブルテレビ施設の民営化(光化による更新事業)	現状値	令和元年度	0地区	
		目標値	令和6年度	4地区	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
民営化による光化(佐伯1期八幡地区等)	●-----●				
" (鶴見地区)		●-----●			
" (佐伯2期木立地区等)			●-----●		
" (弥生地区)				●-----●	
" (蒲江地区)					●-----●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①八幡地区・西上浦地区・大入島地区の老朽化したケーブルテレビ施設を(株)ケーブルテレビ佐伯による民間活力により光化(FTTH方式)に更新する。 (1)工事発注・契約(5月)(2)補助金交付(5月)(3)工事完成(3月) ②令和3年度鶴見地区の民営化に向けて、補助金申請(12月~2月)や費用負担等(3月)の調整を行う。 ③関係地域の区長及び市民に対する説明会(12月~3月)を開催する。
中間報告	①八幡・西上浦・大入島地区(佐伯1期)のケーブルテレビ施設光化(FTTH方式)更新工事は、(株)ケーブルテレビ佐伯の民間活力により実施中。 (1)工事発注・契約(5/13) (2)補助金交付(5/25) (3)工事完成(工期~3/15) ②新型コロナウイルス感染症対策の関係もあり、令和3年度に弥生地区と鶴見地区を集中実施することになり、(株)ケーブルテレビ佐伯が8/21に国庫補助金申請を行った。これにより、全体的にも前倒しとなり、令和5年度までに更新が完了する計画に変更している。 ③鶴見地区の代表区長に対して、9/23に説明。弥生地区は、5月区長会が書面決議となったため、資料配布により周知を行っている。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 計画より早い <input type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	・12月議会に補正予算を計上し、費用負担等の調整を3月までに行う ・今後も、関係地域の区長及び市民に対する説明会を、(株)ケーブルテレビ佐伯と合同で実施する

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	2 持続可能な財政運営の確立	推進項目	(4) 特別会計・公営企業会計の健全化
------	----------------	------	---------------------

実施項目	② 水道事業の経営の健全化	担当課	営業課		
		関係課	水道課		
現状・課題	人口減少や節水家電の普及等により、水道の有収水量は年々減少する一方、施設の老朽化に伴う修繕・更新等に要する費用は増加しており、平成30年度以降、水道事業は単年度の損益収支が赤字となる見込みである。				
実施内容	水道事業会計の損益収支の赤字を解消し、持続可能な経営基盤を確立するため、経常経費や料金体系の見直しを行う。				
目標指数	当年度純損益の額	現状値	平成30年度	△67百万円	
		目標値	令和6年度	黒字化	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
水道事業経営戦略の作成	●-----●				
経常経費・料金体系の見直し	●-----●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①水道事業経営戦略を作成する。(年度末まで) ②料金体系の見直しについて部内で検討を行う。(年度末まで)
中間報告	①水道事業経営戦略の第1案を作成し、部内で内容の検討を行っている。 ②料金体系の見直しについて、課内での検討を行っている。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	①水道事業経営戦略は、市長協議、議会説明(全員協議会)ののち、公表する予定である。 ②料金体系の見直しについては、引き続き検討を行う予定である。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	2	持続可能な財政運営の確立	推進項目	(4)	特別会計・公営企業会計の健全化
------	---	--------------	------	-----	-----------------

実施項目	③	下水道関係事業会計(企業会計・特別会計)の施設維持管理費の平準化	担当課	下水道課	
			関係課	営業課	
現状・課題	下水道関係事業会計においては使用料収入等の自主財源では経常的経費も賄えず、一般会計からの繰入金によって収支の均衡等を図っている状況にある。 また、人口減少等で使用料収入が伸び悩む一方で、施設の老朽化が進み、維持管理費や更新に係る費用の増加が懸念される。				
実施内容	○包括的民間委託導入の検討など施設維持管理費の低減に向けた取り組みを行う。 ○各処理施設の長寿命化計画を策定し、下水道関係事業費の平準化を念頭に置いた予算編成・執行を行う。				
目標指数	—		現状値	令和元年度	—
			目標値	令和6年度	—

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
維持管理費低減に向けた検討	●				●
長寿命化計画等策定	●		●		
事業費の平準化計画策定			●		●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	公共下水道及び特定環境保全公共下水道事業特別会計はストックマネジメント計画、農業集落排水は最適整備構想、漁業集落排水は機能保全計画に基づき、処理人口の減少を考慮したダウンサイジング等、維持管理費低減に向けた取り組みを行う。 公共下水道佐伯終末処理場施設改築事業 1式 農業集落排水 長良地区ほか7地区改築事業 1式 漁業集落排水 蒲戸・福泊地区ほか8地区改築事業 1式
中間報告	公共下水道佐伯終末処理場施設改築事業 : 執行率 100% 農業集落排水 長良地区ほか7地区改築事業 : 執行率 87.7% 漁業集落排水 蒲戸・福泊地区ほか8地区改築事業 : 執行率 72.9%
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	未執行部分を発注し、令和2年度の年度目標を達成する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

# 佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン)基本方針別進捗管理とりまとめシート(中間)

## 基本方針3 公共施設等マネジメントの推進

No	推進項目 実施項目	担当課	計画最終 目標年度	①自己評価 令和2年度中間	②行財政改革推進本部評価等
1	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 観光施設の見直し	観光課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
2	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 各種体育施設の統廃合	体育保健課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
3	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 高齢者福祉施設の統廃合	高齢者福祉課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
4	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 社会教育施設の統廃合	社会教育課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
5	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 学校給食調理場の統廃合	体育保健課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
6	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 公営住宅等の管理戸数適正化	建築住宅課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
7	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 旧消防団機庫の地区譲渡又は解体	消防本部 消防総務課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
8	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 橋梁等の計画的な長寿命化の推進	建設課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
9	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 公園施設の計画的な長寿命化等の推進	都市計画課	令和6年度	計画より遅れている	自己評価を支持
10	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 計画的保全による林道施設等の長寿命化	農林水産工務課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
11	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 計画的保全による漁港施設等の長寿命化	農林水産工務課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
12	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 学校施設の計画的な長寿命化の推進	教育総務課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
13	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 消防車両の更新時期の見直し	消防本部 消防総務課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
14	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 防火水槽の維持補修の最適化・効率化	消防本部 警防課	令和6年度	計画より早い	自己評価を支持
15	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 保健福祉総合センター「和楽」の機能見直し	健康増進課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
16	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止 各保健センターの管理体制の見直しと有効活用	健康増進課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
17	公共施設等の有効活用 公有財産の利活用	行政マネジ メント課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
18	公共施設等の有効活用 普通財産の処分に向けた取組	行政マネジ メント課	令和6年度	計画より遅れている	自己評価を支持

### ①自己評価(令和2年度中間)まとめ

評価区分	計画数	割合
達成	0	0%
計画より早い	1	6%
計画通り	15	83%
計画より遅れている	2	11%
再検討	0	0%
未着手	0	0%
中止	0	0%
計	18	100%

中間報告まとめ
<p>18計画のうち、83%の15計画は、計画通りに取り組んでいる。また、1計画については、計画以上のペースで取り組んでいるが、一方で以下の2計画については、取り組みを進めたものの計画より遅れている。遅れている計画については、課題を整理し、今後の取り組みにつなげていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・No9「公園施設の計画的な長寿命化等の推進」・・・国の交付金を活用して実施する事業だが、令和2年度は国からの配分が予定より少なく、当初の計画どおりの進捗が困難な状況である。今後も引き続き財源の確保に努めるとともに、計画の調整も必要である。</li> <li>・No18「普通財産の処分に向けた取組」・・・普通財産の仕分けを進めるなかで、様々な理由で即座に処分出来ない施設が数多く判明し、具体的な処分する財産のリストアップまでには至らなかった。今後は公有財産全体の視点で、処分を行う財産の仕分けの基準を作成し、リストアップを行う。</li> </ul>

### ②行財政改革推進本部評価まとめ

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	18	100%
指摘あり	0	0%
計	18	100%

行財政改革推進本部意見
<p>すべての計画について「自己評価を支持」とする。</p>

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1) 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	------------------------

実施項目	① 観光施設の見直し	担当課	観光課		
		関係課	行政マネジメント課		
現状・課題	本市には66の観光施設があり、そのうち建物は大小含め230棟あるため、年間の維持費が約1億7千万円かかっている。老朽化も進んでいるため、維持経費や修繕費の増加が見込まれるので、廃止及び売却の見直しが必要になっている。				
実施内容	施設改修及び維持補修時に施設の長寿命化を意識して整備を行うことで、維持費の縮減を図る。また、佐伯市公共施設等総合管理計画に基づいて、各観光施設の目的、利用頻度、利用者等を調査・分析し、施設の廃止及び売却を行う。				
目標指数	観光施設維持費	現状値	令和元年度	1.7億円	
		目標値	令和6年度	1.5億円	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
長寿命化を意識した施設改修等	●-----●				●-----●
各観光施設の調査	●-----●				
見直し対象施設の選定	●-----●				
関係者との協議			●-----●		
施設の廃止及び売却					●-----●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①観光施設の調査については令和元年度に完了した。そこで令和2年度は、各施設の今後の方向性について検討する。 ②令和2年度以降の実施予定の工事・修繕について、施設の長寿命化を意識して改修を行う。
中間報告	①各施設の調査結果をもとに、利用の少ない施設、観光の用途とかけ離れた施設等の選別を行った。今後、用途廃止、所属換えについて、関係課や振興局等と協議を進める。 ②実施予定の工事・修繕については、施設の今後の在り方を踏まえ、必要性を考慮し長寿命化を意識して改修を行っている。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	①今後の方向性について、関係課等と協議を進めていく。②引き続き施設の修繕、長寿命化を行っていく。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1)	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	-----	--------------------

実施項目	② 各種体育施設の統廃合	担当課	体育保健課		
		関係課			
現状・課題	総合運動公園には、本市のスポーツ振興の核となる施設が集積している。一方で、市町村合併により振興局管内には体育館やグラウンド等、類似の体育施設が数多く存在している。これらの施設は経年劣化により今後改修や修繕の費用が見込まれている。				
実施内容	各施設における利用状況や維持管理費等、現状の把握を行う。見直しの多くは振興局管内の社会体育の基幹となる施設であるので、利用者数・利用時間・維持管理費等、数字だけの判断ではなく、社会体育の担当者やスポーツ推進員と十分な議論を積んだうえ(検討委員会の立ち上げ)で、統廃合に向けた取り組みを進めていく。				
目標指数	体育施設(90箇所)のうち、廃止・管理体制の見直しを行う施設数	現状値	令和元年度	0件	
		目標値	令和6年度	30件	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
現状把握(過去5年間)	●-----●				
関係者との協議(検討委員会)	●-----●				
施設の見直し		●-----●			●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	・利用状況や維持管理費等の現状把握を行い、施設利用等の見直しを検討する。 ・検討委員会の立ち上げに向けて、利用者数、維持管理等の現状調査を行い個票を作成する。(上半期までに集計、調査票作成開始する。下半期は施設ごとの個票を作成する。)
中間報告	・米水津温水プールとB&G海洋センターの利用時間について、日曜日の午後5時以降の利用が他の曜日の同時間に比べ著しく低いため、維持管理の費用対効果も鑑み、日曜日の利用時間を午後5時までと短縮した。(令和2年4月1日施行) ・利用者数、使用料、維持管理費の過去4年間分の現状調査を行い、個票作成のもととなる資料を作成した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	全体育施設(90箇所)の個票を作成する。 あわせて現状調査を確認しながら利用時間等、見直しが出来るところは見直していく。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1) 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	------------------------

実施項目	③ 高齢者福祉施設の統廃合	担当課	高齢者福祉課		
		関係課	行政マネジメント課		
現状・課題	高齢者福祉課所管の公共施設は41施設ある。利用者の減少や建物の老朽化が進んでいる施設が多く、今後の施設の在り方について検討が必要である。また、老人憩の家については、毎年行っている施設調査時に現状を把握し、地区譲渡に向け協議を行う準備をしている。				
実施内容	①デイサービス機能がある施設で利用者が減少している施設は、今後の利用状況及び介護保険制度の改正等を踏まえたうえで、統合及び廃止を含めた検討を行う。 ②老人憩の家について、利用の状況等を把握し、地区譲渡を進めていく。				
目標指数	高齢者福祉課所管施設数 (デイサービス機能がある施設数)	現状値	令和元年度	41(10)施設	
		目標値	令和6年度	38(9)施設	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
老人福祉計画の見直し	●-----●			●-----●	
統廃合検討	●-----●				
指定管理者募集		●-----●			
老人憩の家用途廃止			●-----●		●
デイサービス施設等統廃合			●-----●		●

【令和2年度 実施内容】

年度目標	①デイサービス施設等の統廃合に向けて、第2回介護保険等策定委員会までに素案を作成し、3月までに老人福祉計画に反映させる。 ②老人憩の家について、モニタリングを実施し、佐伯市地区集会所整備事業費補助金の利用を促進し、地区譲渡を推進する。
中間報告	①デイサービス施設等の統廃合に向けた方向性について協議を行い、10月15日に開催予定である第2回介護保険事業等策定委員会に市所有高齢者福祉施設の在り方を提案。11月19日開催予定の第3回同委員会にて素案を提出予定である。 ②地区集会所類無償譲渡促進事業費補助金要綱の改正の案内を9月4日付で指定管理者宛に送付し、老人憩の家のモニタリングを開始。地区譲渡に向け地区での協議をお願いしている。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	①介護保険事業等策定委員会で、デイサービス施設等の統廃合に向けての計画について協議を行い、3月までに高齢者福祉計画(老人福祉計画)に反映させる。 ②11月末までにモニタリングを実施。改正された佐伯市地区集会所整備事業費補助金の利用を促進し、地区譲渡についての検討をお願いしていく。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1) 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	------------------------

実施項目	④ 社会教育施設の統廃合	担当課	社会教育課		
		関係課			
現状・課題	社会教育施設のうち、①利用者が少ない施設②老朽化施設については、今後、維持経費や修繕費の増加が見込まれるため、廃止・集約・管理体制の見直しが必要になっている。				
実施内容	①各施設の利用状況、老朽化について精査し、教育委員会内部で方向性を決定する。 ②地区や利用者団体等の関係者と方向性についての協議を行う。 ③施設の廃止・集約・管理体制見直し(地区譲渡・指定管理)を実施する。				
目標指数	廃止・集約・管理体制の見直しを行った施設数	現状値	令和元年度	0件	
		目標値	令和6年度	3件	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
内部協議	●-----●				
関係者との協議		●-----●			
廃止・統合・管理体制の見直し			●-----●		●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	【上半期】施設の統廃合、改修の実施等について、教育委員会内部方針の決定。 【下半期】内部方針を基に、所管施設の「統廃合・整備計画」素案を作成する。 ※管理体制の見直しが可能な施設については、前倒して所管振興局・地区との協議を開始する。
中間報告	今後、維持管理費(修繕費等)の増加が見込まれる所管施設を精査し、利用者数が少ない宿泊型の研修施設について、地区への意見聴取及び他部局への用途転用による利活用照会を行った。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	振興局、関係部署との調整を経て、宿泊型の研修施設についての方向性を確定する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1)	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	-----	--------------------

実施項目	⑤ 学校給食調理場の統廃合	担当課	体育保健課		
		関係課	学校教育課		
現状・課題	現在稼働している給食調理場は11か所あるが、施設や設備等の老朽化により維持管理に要する経費は年々増加している。また、少子化に伴い、給食食数の減少が今後さらに見込まれることから、統廃合に向けた検討が必要となっている。				
実施内容	施設、設備等の老朽化の状況及び将来的な児童生徒数の増減を踏まえ、統廃合計画を作成する。 【令和2年度2学期 センター新設による統廃合】単独三校⇒新センター 【令和3年度以降 統廃合】施設の老朽化や児童・生徒の減少による統廃合				
目標指数	学校給食調理場の数	現状値	令和元年度	11か所	
		目標値	令和6年度	5～6か所	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
統廃合計画の作成	●-----●				
単独三校統廃合⇒新センター	●-----●				
【統廃合の協議・実施】					
施設の老朽化や児童・生徒の減少による統廃合		●-----●			

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①さいき学校給食センターの新設により、老朽化した給食調理場(佐伯小学校・佐伯東小学校・渡町台小学校)を令和2年度2学期から統合する。 ②今後の給食調理場の統合について、施設及び設備の老朽化、維持経費、食数の増減等を考慮し、統合計画の素案を作成する。
中間報告	①2学期から、佐伯小学校・佐伯東小学校・渡町台小学校の給食調理場を廃止し、さいき学校給食センターに統合した。 ②今後の施設統合には、給食配送車の配置換えや購入予算の確保が伴うことから、施設の統合計画と並行して配送車の配置・購入計画の素案を作成した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	素案を作成する中で見えてきた様々な検討課題を各給食センター長及び調理配送委託業者等と再度協議しながら、計画の素案を完成させる。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1)	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	-----	--------------------

実施項目	⑥ 公営住宅等の管理戸数適正化	担当課	建築住宅課		
		関係課			
現状・課題	市町村合併前の自治体毎に多くの公営住宅等が設置されており、合併直後は入居率も高かったが、人口の減少や施設の老朽化等により旧郡部を中心に多くの空室が発生している。また、用途廃止等を予定している公営住宅等の入居者に対する転居等の対応策が遅れており、公営住宅等の維持管理に多大な支障をきたしている。				
実施内容	佐伯市公営住宅等長寿命化計画に示されている用途廃止及び建替え計画等を進めるために、関係者との必要な協議を行う。また、入居者には用途廃止又は建替えに対する市の考え方やスケジュール等を明確に示し、転居の必要性を丁寧に説明し、慎重に計画を進めていく。これにより、維持管理費全般の削減と、公営住宅等管理戸数の適正化を図ることができる。				
目標指数	公営住宅等の管理戸数	現状値	令和元年度	1,685戸	
		目標値	令和6年度	1,575戸	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
A団地20戸(用途廃止)	●-----●				
B団地4戸・C住宅5戸(用途廃止)	●-----●				
D団地16戸(用途廃止)	●-----●				●
E団地41戸(用途廃止)	●-----●				●
F団地24戸(用途廃止)	●-----●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①9月議会に議案を提出し、C団地の用途廃止を行う。 ②E団地とF団地の入居者へ移転補償事業による他の市営住宅等への転居の案内を送付する。 ③令和2年12月までに、D住宅入居者に移転に向けた説明会を行う。
中間報告	①9月議会でC団地(江川団地)の用途廃止の議決を得た。 ②E団地とF団地の入居者へ移転補償事業による他の市営住宅等への転居の案内を送付し、説明を行った。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	②E団地とF団地の入居者へ再度、移転補償事業による他の市営住宅等への転居の案内を送付し、説明を行う。 ③D住宅の入居者へ、移転補償事業についての説明会を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1) 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	------------------------

実施項目	⑦ 旧消防団機庫の地区譲渡又は解体	担当課	消防本部 消防総務課		
		関係課	行政マネジメント課		
現状・課題	市町村合併以前に建設され、現在地区の倉庫として、又はそのまま放置されている旧消防団機庫がある。今後、このような機庫を放置したままにしておくと、老朽化が進み適正な管理に支障が生ずる。				
実施内容	新機庫が完成した後に、目的外使用等の理由で旧機庫を残してきたことで、現在経年による老朽化が進んでいるので、今後、現状把握と共に地区と協議を行い、今後の対策を協議していく必要がある。				
目標指数	関係者との合意割合	現状値	令和元年度	0%	
		目標値	令和6年度	100%	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
現状の把握	●-----●				
関係者との協議	●-----●		●		
解体・譲渡計画案の作成		●-----●		●	
機庫解体			●-----●		●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①消防機庫の目的外使用等について、現況調査(土地所有含む)を実施(4月～12月) ②調査結果をもとに台帳作成(R2.1月～R3.2月) ③台帳をもとに、所有(管理含)状況の把握及び関係者との協議を実施(R3.2月～3月)
中間報告	①各方面隊の消防担当に現況調査を依頼、提出期限は10月末日。(R2.5月～10月) ②台帳作成については、現況調査完了後に作成予定。(R2.12～) ③台帳作成後に地元消防団及び自治会関係者等と協議を実施予定。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	消防担当からの調査結果をもとに、12月末日までに台帳の作成を完了させる。台帳作成後、R3年2月から3月には地元消防団及び自治会関係者等との協議を実施予定。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1)	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	-----	--------------------

実施項目	⑧ 橋梁等の計画的な長寿命化の推進	担当課	建設課		
		関係課			
現状・課題	市道の橋梁は919橋あり、そのうち何らかの対策が必要な橋梁が145橋ある。今後、修繕・架替等の更新に要する経費が増大していくことが懸念される。				
実施内容	対症療法型の修繕から予防保全型の修繕への転換を図り、計画的に実施することにより、将来的な財政負担の軽減・道路交通安全性の確保を図る				
目標指数	橋梁長寿命化修繕の完了橋梁数	現状値	令和元年度	43橋	
		目標値	令和6年度	68橋	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
長寿命化修繕の実施	●-----●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	令和2年度は、3橋整備する。 ①市道所賀津留線所賀津留橋の補修工事を第2四半期に発注し年度内完成を図る。 ②市道細川内2号線細川内橋は、撤去工事を行うための設計業務委託をまず第1四半期に発注し、第3四半期に撤去工事を発注し年度内完成を図る。 ③市道尾浦線天神橋架替工事と同じく、まず第1四半期に設計業務委託を発注し、第3四半期に工事発注し年度未完成を図る。
中間報告	① 市道所賀津留線所賀津留橋補修工事については、当初、第2四半期に発注予定としていたが、全面通行止めによる通行規制について地元調整に時間を要した為、工事発注が第3四半期(10月上旬)となる見込みで、若干、計画より遅れている。 ② 市道細川内2号線細川内橋撤去工事については、当初予定どおり第1四半期に詳細設計業務委託を発注し、既に完了している。 ③ 市道尾浦線天神橋架替工事についても、当初予定どおり、第1四半期に設計業務委託を発注し、既に完了している。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	① 市道所賀津留線所賀津留橋補修工事については、第3四半期(10月上旬)に工事発注し、年度内完成を予定している。②・③ 市道細川内2号線細川内橋撤去工事及び市道尾浦線天神橋架替工事については、第3四半期(10月上旬)に発注し、年度内完成を予定している。令和2年度は事業費の大きい撤去工事があるため3橋に留まったが、次年度以降、事業費の調整により目標数の達成を目指す。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1) 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	------------------------

実施項目	⑨ 公園施設の計画的な長寿命化等の推進	担当課	都市計画課		
		関係課			
現状・課題	佐伯市の都市公園にある公園施設の多くが使用見込み期間を超えており、老朽化が顕在化してきている。 今後、進展する公園施設の老朽化に対する安全性の確保及び計画的に更新・補修等の費用を平準化、ライフサイクルコストの縮減を図る必要がある。				
実施内容	平成30年度に策定した「佐伯市公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に老朽化した公園施設の更新、補修、撤去を実施する。				
目標指数	公園施設長寿命化対策完了施設数	現状値	令和元年度	4施設	
		目標値	令和6年度	104施設	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
公園施設長寿命化対策	●-----●				●
公園施設健全度調査				●-----●	

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	・公園施設の長寿命化対策を21施設(9公園)実施する。工事の発注については各公園ごとに計8件、9月末までに起工及び契約をする。また、3月中旬までに各工事を完成させる。
中間報告	・令和2年度の国の交付金が当初予定した額より少なかったことから、令和2年度の実施予定を15施設(6公園)に修正。 9月末までに11施設(3公園)の長寿命化対策工事等を実施中、3施設(2公園)の工事は起工手続中。残り1施設(1公園)の工事については、10月中旬に起工及び契約の見込み。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input type="checkbox"/> 計画通り <input checked="" type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	・15施設(6公園)の長寿命化対策を3月中に完了させる。 ・国の交付金が計画どおりに配分されなかったことから、財源不足となっており、計画どおりの進捗が困難な状況であるため、今後、財源の確保を含め、計画の調整が必要である。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1) 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	------------------------

実施項目	⑩ 計画的保全による林道施設等の長寿命化	担当課	農林水産工務課		
		関係課			
現状・課題	令和元年度に林道(橋143・トンネル2)点検・診断の結果を踏まえた長寿命化計画を策定した。令和2年度から補修や更新等を行い将来にわたって機能を発揮し続けるための対策を講じていく予定である。どの施設も老朽化が進んでおり対策費用の増大が見込まれるため、今後は国の財政支援を含めた財源の確保が課題である。				
実施内容	点検・診断により施設の健全度を評価した上で、当該施設の設置目的や利用頻度、利用計画、地域経済への貢献度、緊急時の迂回路としての機能等について考慮し、限られた予算の中で施設毎の優先度を設定し計画的に対策を講じていく。				
目標指数	橋梁修繕の完了橋梁数	現状値	令和元年度	0橋	
		目標値	令和6年度	51橋	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
橋梁・トンネル定期点検・診断の実施	●				●
保全整備(補修・更新等)の実施	●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①1巡目の橋梁定期点検・診断により橋台洗掘等の軽微な損傷が見られた橋梁のうち、緊急性の高い10橋について上半期5橋、下半期5橋の修繕を発注し、年度内に完了させる。 ②橋梁定期点検・診断で主桁・橋脚・橋台にクラック等の変状が見られた1橋(木浦内橋：L=43.8m)について、上半期に補修工事に向けた詳細調査業務委託を発注し、年度内に完了させる。
中間報告	①湧水期施工の必要がない橋梁から順次発注し、6橋の修繕業務を発注済。 ②農山漁村地域整備交付金事業林道木浦内橋橋梁点検診断業務委託として発注済。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	残りの橋梁4橋についても随時発注し、年度内完成を目指す。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1) 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	------------------------

実施項目	① 計画的保全による漁港施設等の長寿命化	担当課	農林水産工務課		
		関係課			
現状・課題	昭和25年の漁港法制定、昭和31年の海岸法制定以降、様々な漁港事業等を展開することにより漁港・漁港海岸施設のストック量が着実に増大している。他方、老朽化とともに更新時期を迎える施設が増加し、施設の長寿命化や更新コストの平準化・縮減を図っていくことが重要となっている。				
実施内容	水産物供給基盤機能保全事業、海岸保全施設整備事業による漁港施設等の計画的・効果的な維持保全が必要となる。施設の機能を将来にわたって確実に発揮させるため、点検・診断を定期的に行い、補修対策の優先順位を明確にした上で、適切な時期に保全工事を実施し、長寿命化を図る。				
目標指数	漁港施設等修繕の実施箇所数	現状値	令和元年度	9施設	
		目標値	令和6年度	16施設	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
水産物供給基盤機能保全事業の実施	●				●
海岸保全施設整備事業の実施	●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①水産物供給基盤機能保全事業により、大入島地区高松漁港の防波堤(L=55m:C=45,000千円)、鶴見地区吹浦漁港の物揚場2施設(L=185.5m:C=60,000千円)の保全工事を行う。上半期に水産庁の事業実施認可を受け、10月末までに令和2年度分の工事発注を行い、年度内に完了させる。 ②海岸保全施設整備事業により、長寿命化計画の策定(27漁港海岸:C=90,000千円)の業務委託を行う。上半期に水産庁の事業実施認可を受け、10月末までに令和2年度分の業務委託発注を行い、年度内完了を目指す。
中間報告	①高松漁港及び吹浦漁港の保全工事の発注は、9月に発注済。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	②長寿命化計画策定は予定通り、10月末に発注を行い、年度内完成を目指す。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1) 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	------------------------

実施項目	⑫ 学校施設の計画的な長寿命化の推進	担当課	教育総務課		
		関係課	行政マネジメント課・建築住宅課		
現状・課題	小学校22校(うち休校3校)、中学校15校(うち休校3校)、幼稚園15園(うち休園3園)の施設が、市内各地域に点在している。振興局管内の施設は、市町村合併前に統廃合を行ったため比較的新しいが、旧市内の施設は老朽化が著しいため、計画的な大規模改修が必要となっている。				
実施内容	施設の老朽化の状況を調査し、学校規模の適正化及び児童生徒数の減少状況を踏まえ、大規模改修等の計画を策定し学校施設の長寿命化を推進する。				
目標指数	-	現状値	令和元年度	-	
		目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
大規模改修計画の決定	●-----●				
大規模改修に係る設計業務		●-----●			●
大規模改修工事			●-----●		●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	<p>学校規模の適正化に係る方針等の検討状況及び児童生徒数の減少状況を踏まえ、今後10年間の長寿命化の実施計画を基に施設の整備方針を検討する。</p> <p>【上半期】①長寿命化計画概要版の作成及び教育民生常任委員会(全員協議会)での説明 ②市ホームページに掲載し、周知を図る。</p> <p>【下半期】今後の改修の進め方について、関係課と協議を行う。</p>
中間報告	<p>①長寿命化計画概要版の作成及び教育民生常任委員会(全員協議会)での説明 ・第4回定例会教育民生常任委員会(6/23)にて報告済み。</p> <p>②市ホームページに掲載 ・9月号に掲載し、周知を図った。</p>
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	今後の改修の進め方について関係課と協議を行い、整備方針を検討する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1)	公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	-----	--------------------

実施項目	⑬ 消防車両の更新時期の見直し	担当課	消防本部 消防総務課		
		関係課			
現状・課題	消防車両は更新計画に基づき、消防車両本体は法定点検や車検を定期的に受けているが、法定点検にかからない特殊装備品(ポンプの計器類など)は長期使用になると部品供給が終了し、適正能力を維持するための正規部品調達が困難となる。代替部品は修理に日数を要し、車両の能力が半減することから機装・更新時期の見直しが必要となっている。				
実施内容	現在の車両は、ポンプの計器類がコンピューター制御になったことや資器材も多様化で、長期間の使用に耐えうる仕様に改良されてきている。このため、今後は車両及び資器材の耐用年数も考慮し、現状把握を行いながら、更新時期の見直しについて協議し計画の再策定をする。				
目標指数	車両更新計画の策定	現状値	令和元年度	策定済(H29)	
		目標値	令和6年度	再策定(R4)	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
他消防本部の状況調査	●-----●				
現状の把握と費用対効果の実証	●-----●				
車両更新時期の見直し	●-----●				
車両更新計画の作成		●-----●			

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①県下消防本部の更新基準年数等の調査を実施(5月～6月) ②消防力の整備指針を踏まえた消防車両の適正台数について、調査結果をもとに検討(7月～10月) ③現有車両の稼働状況及び費用(修理等)の調査を実施(R2.4月～R3.3月)
中間報告	①県下消防本部の更新基準年数について調査を行った。 ②適正台数については、国が示す消防力の整備指針及び管内の状況等も考慮したうえで検討を進めている。 ③現有車両の費用(修理等)については、令和2年度末まで継続して調査を行う。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	今後は、適正台数について、国が示す消防力の整備指針及び管内の状況等も考慮したうえで引き続き検討し、現有車両の費用(修理等)についても調査を継続していく。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1) 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	------------------------

実施項目	⑭ 防火水槽の維持補修の最適化・効率化	担当課	消防本部 警防課		
		関係課	行政マネジメント課・農林水産工務課		
現状・課題	コンクリート製の防火水槽は、耐用年数が50年程度とされる中で、管内に設置している水槽は、ほぼ全てがコンクリート製であり、加えて公設防火水槽の約5割が40年以上経過している。(耐震性防火水槽設置は、1割5分程度)そのため、毎年度、経年劣化による漏水個所の修繕を行っており、年々増加傾向にある。				
実施内容	現在の修繕方法では、大規模な地震等が発生した際には、コンクリートが耐えきれず、再び漏水する可能性があることから、補助金等を活用し長期間効果のある防水性耐震の工法を取り入れる。今後は、人口減少や住宅事情等、併せて消防水利の基準も勘案し、既存の防火水槽の置き換え設置を含めて防火水槽の適正数の協議を行い、財政負担の軽減を図る。				
目標指数	-	現状値	令和元年度	-	
		目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
防火水槽の適正配置策定	●				●
防水工法の策定	●	●			
適正配置、防水工事の実施			●		●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①防水工事の工法や補助金の有無について、令和2年度中に県下各消防本部の状況を調査実施(R2年4月～12月) ②調査結果を基に、設計担当の農林水産工務課と最適な防水工法を協議実施(R3年1月～3月) ③防火水槽の経過年数を考慮した防水工事の実施基準を設定する。(R2年9月～3月) ④撤去・更新について、更新設置時の補助金の可否、撤去費用の補助金等の有無についても、上記①と同時に県及び県下各消防本部の状況を調査する。(R2年4月～12月)
中間報告	①防水工事の工法や補助金の有無について、調査を実施し集計済み。(8月中旬) ②①の調査結果を基に、農林水産工務課と防水工法について協議し、試験的に設計を依頼中。(9月初旬) ③農林水産工務課と協議した防水工法を基本にして、漏水防火水槽の経過年数等の状況を考慮した防水工事实施基準(仮)を作成済み。(9月中旬) ④防火水槽の撤去・更新について、更新設置時の補助金の可否、撤去費用の補助金等の有無についても、上記①と同時に調査済み。(8月中旬)
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 計画より早い <input type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	調査結果を基に、設計担当の農林水産工務課と最適な防水工法を協議実施する。 防火水槽の防水工事实施基準を作成する。 消防水利の基準と国土強靱化計画を照らし合わせて、消防水利の維持・更新計画を作成する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1) 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	------------------------

実施項目	⑮ 保健福祉総合センター「和楽」の機能見直し	担当課	健康増進課		
		関係課			
現状・課題	過去3年間の「和楽」の貸館事業の利用実績は、大研修室等の会議室と風呂サウナについてはほぼ横ばい、トレーニング室の利用は年々増加している。しかしながら、風呂サウナは配管の老朽化による漏水が頻発するなどしている。				
実施内容	令和2年秋の「さいき城山桜ホール」の開館により、「和楽」の同規模同類の会議室は利用状況の推移などを考慮しながら、機能の見直しを検討する。また、風呂サウナは費用対効果を見極めながら今後の運営方針を検討していく。				
目標指数	運営方針の決定・機能の見直し	現状値	令和元年度	未実施	
		目標値	令和6年度	実施	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
「さいき城山桜ホール」開館	●-----●				
「和楽」等、利用状況の検証	●-----●				
「和楽」運営方針の検討	●-----●				
関係者との協議		●-----●			
運営方針の決定・機能の見直し			●-----●		●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①上半期中に、令和元年度の「和楽」利用実績報告書の作成と、貸館事業の年度ごとの推移について分析と検証を実施する。また、「さいき城山桜ホール」開館後の「和楽」の貸館事業について、年度末までの利用状況の分析と検証を行う。 ②「和楽」の貸館事業を含めた運営方針について、「さいき城山桜ホール」開館後の利用状況などを参考に検討を開始する。
中間報告	①令和元年度の貸館事業の利用実績報告書の作成を行った。利用状況の推移について過去5年間の比較をした結果、すべてでほぼ横ばい状態であった。 ②「和楽」の貸館事業を含めた運営方針については、協議・検討を進めている。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	②「和楽」の貸館事業を含めた運営方針については、「さいき城山桜ホール」の今後の利用状況等を見ながら引き続き協議・検討を進める。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(1) 公共施設等の計画的な管理と統合・廃止
------	---	----------------	------	------------------------

実施項目	⑯ 各保健センターの管理体制の見直しと有効活用	担当課	健康増進課		
		関係課			
現状・課題	地域保健法施行に伴い、振興局管内ごとに保健センターが建設され、保健事業の拠点として活用されてきた。弥生保健センターと蒲江保健センターには職員が常駐し常時開設されているが、他の保健センターの利用状況は年数回程度となっている。老朽化も進んでおり、今後の管理運営を見直す必要がある。				
実施内容	上浦・宇目・直川・鶴見及び米水津保健センターについて、管理体制の見直しと有効活用について検討を行う。各地区の実情(巡回診療や社協事務所としての貸付)や、各施設の老朽化の程度などを考慮し、所属替え等も視野に入れた有効活用の方法を検討する。				
目標指数	管理体制の見直し及び有効活用	現状値	令和元年度	未実施	
		目標値	令和6年度	実施	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
管理体制、有効利用の検討、協議	●-----●				
管理体制の見直し、有効活用の実施		●-----●			●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①各地区の実情と住民健診等の保健事業での活用頻度などを考慮し、有効利用の最善策について協議検討する。 ②令和3年度の開設を予定している「地域包括支援センター」の設置候補として、保健センターの利用が検討されている。施設の有効利用となるため、利用を前提とした管理体制の見直しや運用方法等の協議を行う。
中間報告	①保健センターの有効利用については、保健事業等の代替施設を勘案しながら、地域での有効利用の検討を行った。その中で、上浦保健センターについては、消防署上浦派出所として有効利用することが決定した。 ②「地域包括支援センター」の設置については、保健センターの利用の可能性について協議・検討を行った。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	①12月議会に保健センター設置条例の一部改正を行う。(上浦保健センター) ②施設の利用を前提とした管理体制の見直しや運用方法等の協議を進める。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(2)	公共施設等の有効活用
------	---	----------------	------	-----	------------

実施項目	① 公有財産の利活用	担当課	行政マネジメント課		
		関係課	各施設関連課		
現状・課題	本市が保有する公有財産の中には、低利用・未利用となっている財産が数多く生じており、不必要な維持管理経費が増加するなどの課題を抱えている。市民共有の財産である公有財産を利活用することにより、歳入の確保や歳出の削減に努めることが求められている。				
実施内容	①公有財産利活用方針の策定(職員や住民への意識付けも含む。) ②公有財産の調査及び仕分け(低利用・未利用のものをリストアップ) ③検討対象となる財産ごとの方向性の検討(保有継続又は売却貸付の方向性) ④転用や売却貸付等の実施(有効利用提案の募集など)				
目標指数	-	現状値	令和元年度	-	
		目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
公有財産利活用方針の策定	●-----●				
公有財産の調査及び仕分け	●-----●	●			
方向性の検討		●-----●	●		
転用や売却貸付等の実施		●-----●			●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①公共施設の総合的かつ計画的な管理の基本方針と実施方針を定めた佐伯市公共施設等総合管理計画を遂行するための推進体制を構築 ②民間移譲等を行う公有財産の仕分けの基準の検討
中間報告	①公有財産の異動に関する庁内決裁手順を調整するとともに、公共施設の複合化や集約化等の検討を計画的に進めることを目的に大規模維持補修予算の一元管理を行った。 ②特に優先して移譲等の取り組みをすべきとされている地区集会所類に関し、市としての方針(補助制度の拡充、用途廃止の最終期限など)を確立した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	公有財産の仕分けの基準を作成するとともに民間移譲等にかかる手順を作成する。特に未利用財産の民間移譲等を速やかに進めるため、不要建物の除却ルールを確立する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	3	公共施設等マネジメントの推進	推進項目	(2)	公共施設等の有効活用
------	---	----------------	------	-----	------------

実施項目	② 普通財産の処分に向けた取組	担当課	行政マネジメント課		
		関係課	財政課		
現状・課題	普通財産については、不要なものは処分(譲渡・貸付)すべきであるが、現状では、多くの普通財産があり、詳しい不動産の専門知識もないため、戦略的かつ積極的な不動産処分が行えない状況である。				
実施内容	①不要財産の仕分け(将来も不要と思われる普通財産を抽出しリスト化) ※エリア分けすると、第2次総合計画の地域意見や振興局意見も把握しやすい。 ②庁内での方向性決定(処分リストの作成) ③市有財産売却業務委託に向けた取組				
目標指数	-	現状値	令和元年度	-	
		目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
不要財産の仕分け	●-----●				
庁内での方向性決定	●-----●				
市有財産売却業務委託の取組		●-----●			

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①普通財産のうちの不要財産の仕分け作業 ②処分する財産の決定
中間報告	①普通財産であるにも関わらず、物品類が放置された状況であったり、施設廃止に至るまでの地区等と取り決めにより地域や各種団体の使用がある等即座には処分に取り掛かれない物件が数多くあることが判明した。 ②公有財産の異動に関する庁内決裁手続きの調整を行ったが、具体的な処分財産のリストアップまでには至らなかった。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input type="checkbox"/> 計画通り <input checked="" type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	未利用財産の民間移譲等を速やかに進めるため、不要建物の移管や解体のルールを確立する。今後、処分を行う財産の仕分けの基準について、公有財産全体の視点で作成し、リストアップを行う。土地建物売却業務の外部委託については実施の是非を検討する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン)基本方針別進捗管理とりまとめシート(中間)

基本方針4 行政の質と生産性向上

No	推進項目 実施項目	担当課	計画最終 目標年度	①自己評価 令和2年度中間	②行財政改革推進本部評価等
1	市民サービスの維持・向上 窓口業務の質の向上	行政マネジメント課	令和6年度	計画より遅れている	自己評価を支持
2	市民サービスの維持・向上 ICTを活用した電子手続き等の拡充	行政マネジメント課・情報推進課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
3	市民サービスの維持・向上 市広報媒体の効率的・効果的な活用	秘書広報課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
4	事務事業の見直し・最適化 TV会議システムを活用した振興局の窓口業務改善	行政マネジメント課・情報推進課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
5	事務事業の見直し・最適化 小・中学校の適正規模の検討	教育総務課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
6	事務事業の見直し・最適化 幼児教育における公立幼稚園の方向性の検討	学校教育課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
7	事務事業の見直し・最適化 公立保育所及びこども園の業務効率化や民間活用の検討	こども福祉課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
8	事務事業の見直し・最適化 へき地診療所のあり方の検討	保険年金課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
9	事務事業の見直し・最適化 公用自動車の適正配置及びリース化	財政課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
10	事務事業の見直し・最適化 消耗品の一括管理	財政課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
11	事務事業の見直し・最適化 会計事務の見直し	会計課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
12	事務事業の見直し・最適化 ペーパーレス化に向けた事務改善	行政マネジメント課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
13	事務事業の見直し・最適化 選択と集中による行政サービスの最適化	行政マネジメント課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
14	業務の生産性向上 BPR手法を用いた業務改善	行政マネジメント課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
15	業務の生産性向上 AI及びRPAの導入による業務の効率化	行政マネジメント課・情報推進課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
16	業務の生産性向上 給与支払報告書の電子化(eLTAXでの提出)の推進	課税課	令和6年度	計画より早い	自己評価を支持
17	民間活力の積極的活用 家庭ごみの有料戸別収集等のあり方検討	清掃課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
18	民間活力の積極的活用 エコセンター 番匠ごみ搬入窓口業務の民間委託	清掃課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
19	民間活力の積極的活用 食のまちづくり推進事業の民間委託	ブランド推進課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
20	民間活力の積極的活用 ふるさと納税事務の民間委託	ブランド推進課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
21	民間活力の積極的活用 地域包括支援センターの民間委託	高齢者福祉課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
22	民間活力の積極的活用 下水道施設の包括的民間委託	下水道課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
23	民間活力の積極的活用 PPP/PFIの推進	行政マネジメント課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
24	協働社会の構築と圏域行政の推進 新たな住民自治組織のあり方について	コミュニティ創生課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
25	協働社会の構築と圏域行政の推進 地域に根差した市民協働体制の構築	地域振興課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
26	協働社会の構築と圏域行政の推進 クラウドファンディング活用型まちづくりファンドの構築	地域振興課	令和6年度	計画より早い	自己評価を支持
27	協働社会の構築と圏域行政の推進 災害時に生きるネットワークづくり	防災危機管理課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持
28	協働社会の構築と圏域行政の推進 県下消防指令業務の共同運用	消防本部通信指令課	令和6年度	計画通り	自己評価を支持

(裏面へ)

《①自己評価(令和2年度中間)まとめ》

評価区分	計画数	割合
達成	0	0%
計画より早い	2	7%
計画通り	25	89%
計画より遅れている	1	4%
再検討	0	0%
未着手	0	0%
中止	0	0%
計	28	100%

中間報告まとめ
<p>28計画のうち、89%の25計画は、計画通りに取り組んでいる。また、2計画については、計画以上のペースで取り組んでいるが、一方で以下の1計画については、取り組みを進めたものの計画より遅れている。遅れている計画については、課題を整理し、今後の取り組みにつなげていく。</p> <p>・No1「窓口業務の質の向上」…安定した窓口サービスの提供や充実を図るための手法として、民間委託の検討を行ったが、コストが大幅に増加し、費用対効果が低い場合もあるため、新たな業務改善の手法としてICTを活用した業務改善による安定したサービスの提供についても検討を行うこととした。</p>

《②行財政改革推進本部評価まとめ》

評価区分	計画数	割合
自己評価を支持	28	100%
指摘あり	0	0%
計	28	100%

行財政改革推進本部意見
<p>すべての計画について「自己評価を支持」とする。</p>

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(1) 市民サービスの維持・向上
------	---	------------	------	------------------

実施項目	① 窓口業務の質の向上	担当課	行政マネジメント課		
		関係課	窓口関係課		
現状・課題	現在の窓口業務は臨時職員や嘱託職員を配置している窓口も多い。そのため任用期間が短く、安定した窓口サービスが提供出来ていない。また、新たに配置された者に対して職員による業務の研修や補助が必要となっている。				
実施内容	国が示す民間事業者へ委託することができる業務範囲のうち、本市の状況や他市の事例等を参考にし、とうえで委託可能な業務の検討を行い、窓口業務を民間委託することにより、窓口サービスの安定的な提供や充実を図る。				
目標指数	-	現状値	令和元年度	-	
		目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
民間委託が可能な業務の選定	●-----●				
モデル業務での試験的委託・検証		●-----●			
窓口業務の民間委託			●-----●		

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①5月末までに、先進地視察を実施する。 ②8月末までに先進地の状況を基に、委託可能業務を抽出する。 ③窓口業務を民間委託した場合の費用対効果の検証を行う。 ④3月末までに、令和3年度の試験的委託に向けた準備を進める。
中間報告	先進地の視察は新型コロナウイルスの影響により実施出来ていない。 また、委託可能な業務の検討を進めるなかで、主に民間委託されている市民課の窓口業務を当市で民間委託した場合の費用対効果について検証を行い、今後の方向性について検討を行った。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input type="checkbox"/> 計画通り <input checked="" type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	民間委託により市民サービスの向上や職員の負担軽減などが期待できるものの、コストが大幅に増加し、費用対効果が低い。また、会計年度任用職員制度により、継続的な雇用による安定したサービスも可能となったため、民間委託と並行して、新たな業務改善の手法として、「ICTを活用した業務改善」による安定したサービスの提供についても検討を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(1)	市民サービスの維持・向上
------	---	------------	------	-----	--------------

実施項目	② ICTを活用した電子手続き等の拡充	担当課	行政マネジメント課・情報推進課		
		関係課	総務課		
現状・課題	住民にとって利便性の高いサービスを、より効率的に提供するツールとしてICTの活用が全国的に進んでいる。特に窓口分野においては、今後ますます多様化する住民の生活スタイルに合わせたサービスを提供するための有効な手段として検討が必要となる。				
実施内容	本市で導入可能な業務やツールについての検討を行い、電子申請による各種手続きのサービスを拡充することで、住民の利便性の向上を図る。また、電子申請の際に必要なマイナンバーカードの普及の促進を図る。				
目標指数	-	現状値	令和元年度	-	
		目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
マイナンバーカードの普及の促進	●-----●				●
電子申請等が可能な業務の検討	●-----●	●			
電子申請等の拡充			●-----●		●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①マイナンバーカードの普及に向けて、広報・周知を行う。 ②各種手続きのオンライン化など可能な業務の検討を行う。
中間報告	①市報8月号及び9月号において、マイナンバーカードの取得について広報を行った。また、9月から申請時来庁方式(申請者本人が市窓口に来庁して申請手続きを行い、後日郵送によりカードを交付する方式)を導入し、取得申請手続きの支援を開始した。 ②市民からの問い合わせに対応するチャットボット(AIを活用して自動で回答を表示するシステム)の活用を検討するため、9月から試験的運用を開始した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	①引き続きマイナンバーカードの取得に向けた広報を進め、普及を促進する。 ②国の動向も注視しながら、各種手続きのオンライン化の検討を進める。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(1)	市民サービスの維持・向上
------	---	------------	------	-----	--------------

実施項目	③	市広報媒体の効率的・効果的な活用	担当課	秘書広報課		
			関係課	全庁		
現状・課題	市報、HP、CATV、ラジオ、ツイッターの広報媒体による行政情報を発信している。近年の住民ニーズは多種多様となっており、これまで以上の情報発信が求められている。					
実施内容	1 各業務(広報媒体ごと)の作業内容等の見直しの実施 2 民間活力の導入による効果的な情報発信の検討 3 新たな広報媒体の導入の検討(SNSの活用) 4 広報媒体ごとの発信情報の見直し					
目標指数	—		現状値	令和元年度	—	
			目標値	令和6年度	—	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
業務内容の見直し	●-----●				
民間活力の導入検討	●-----●				
新たな広報媒体導入検討(SNS)	●-----●				
広報媒体ごとの発信情報見直し	●-----●		●		

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①業務内容の見直し 市報等の有料広告掲載の受付業務を市報の制作業務と合わせての外部委託実施を検討する。 ②民間活力の導入検討 市報の制作業務を令和3年度から全ページ外部委託に向けて検討する。 ③新たな広報媒体導入の検討(SNS) 9月末までに、新たにライン、フェイスブック、インスタグラムを導入する。 ④広報媒体ごとの発信情報の見直し 【1.ホームページ】ホームページ活用のための職員向けマニュアルを作成する。【2.ケーブルテレビ】9月までに行政広報番組「さいきほっとタイム」番組表を作成し、情報発信していく。
中間報告	① 委託業務の方針を固め、検討事項の洗出しを行った。 ② 令和3年度から全ページの制作業務を外部委託することとし、委託仕様書(案)を作成した。 ③ 6月にライン、フェイスブック、インスタグラムを導入した。 ④-1 マニュアルの作成に着手し、作業を進めている。 ④-2 番組表を作成し、ホームページに掲載した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	① 検討事項整理のため事業者からの意見聴取などし、準備を進める。 ② 12月末のプロポーザル実施に向け実施要綱作成等の準備する。 ③ より効果的な運用方法を調査・検討していく。 ④-1 マニュアルの完成、配布に向け作業を進める。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(2)	事務事業の見直し・最適化
------	---	------------	------	-----	--------------

実施項目	①	TV会議システムを活用した振興局の窓口業務改善	担当課	行政マネジメント課・情報推進課		
			関係課	全庁		
現状・課題	振興局では数多くの窓口業務の対応が求められているが、取り扱いの件数が少ないものや専門性の高い案件などについても担当者が習熟する必要がある、担当者への負担が大きくなっているため、今後は市民サービスの質を落とさずに業務の改善が必要となる。					
実施内容	振興局と本庁舎をTV会議システムでつなぎ、ビデオ通話によって振興局においても本庁舎と同様の窓口サービスの提供を可能にし、市民の利便性を高めるとともに振興局の窓口業務の軽減を図る。					
目標指数	TV会議システムにより窓口業務を改善した振興局の数	現状値	令和元年度	0		
		目標値	令和6年度	8		

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
モデル振興局で試験的実施・検証 全庁的な取組へ展開	●-----●	●-----●			●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①4月末までに、情報推進課、弥生振興局、本庁各課と試験的実施に向けた調整 ②7月末までにTV会議システムを設置し、試験的実施を開始 ③9月に担当者会議を開催し、状況把握と検証を継続
中間報告	弥生振興局と本庁各課をつなぎ、試験的実施を計画していたが、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が活用できることから、計画を前倒して令和3年度から全庁的に実施する予定の全ての機器を今年度中に調達するように計画変更した。なお、機器の調達は1月頃となり、全振興局を対象とした試験的実施をその後に行う予定とする。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	機器の調達が整い次第、全振興局を対象とした試験的実施を行い、令和3年度から全庁的な取組が開始出来るように準備を進める。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(2)	事務事業の見直し・最適化
------	---	------------	------	-----	--------------

実施項目	② 小・中学校の適正規模の検討	担当課	教育総務課		
		関係課	学校教育課・体育保健課		
現状・課題	佐伯市で国が定める標準学級に該当するのは小学校2校、中学校1校のみである。令和元年度は、小学校3校で複式学級(5学級)となっており、小規模の学校では集団活動が困難になり、部活動が限定されるなどの課題が生じている。				
実施内容	今後、児童生徒数が減少していく状況や佐伯市の地域事情を踏まえ、適正規模について再度検討し、長寿化計画等に反映させる。				
目標指数	-	現状値	令和元年度	-	
		目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
状況調査及び分析	●-----●				
今後の教育環境検討		●-----●			●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	状況調査及び分析 【上半期】 ①人口動態や学校現場の現状を把握する。 【下半期】 ②教育委員会内で振興局(旧市町村)を越えた学校配置についても可能か協議・検討する。
中間報告	①上半期は、市内全小中学校(小19校、中12校)を学校訪問し、現在の学校現場の状況について各学校長からヒアリングを行った。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	振興局(旧市町村)を越えた学校再編の可能性や問題点について教育委員会内で協議・検討する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(2)	事務事業の見直し・最適化
------	---	------------	------	-----	--------------

実施項目	③	幼児教育における公立幼稚園の方向性の検討	担当課	学校教育課	
			関係課	こども福祉課	
現状・課題	少子化の進行、令和元年10月実施の幼稚園教育、預かり保育の無償化により、幼稚園の小規模化が加速する見込みにあり、遊びや制作活動等における学びの広がりや深まり等の教育効果を発揮するための適正規模について方針を出し、施設の老朽化も含め、幼稚園の統廃合について検討していく必要がある。				
実施内容	「佐伯市立幼稚園・保育所のあり方検討委員会」を組織し、就学前の子どもたちの教育、保育の質と量を保障するための調査、協議を実施し、統廃合についての基準を策定する。また、こども福祉課とともに幼稚園の認定こども園化について引き続き協議を行う。				
目標指数	公立幼稚園数	現状値	令和元年度	12園	
		目標値	令和6年度	10園	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
各園適正園児数の推移検証	●	●			
適正園児数以下の園についての検討			●		●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	<p>今後の本市の公立幼稚園の適正規模や統廃合の基準を検討した「佐伯市立幼稚園及び保育所のあり方についての報告書」(R2.3)(佐伯市立幼稚園及び保育所のあり方検討委員会)(以下「報告書」という)を受けて、これをもとに今後の本市の公立幼稚園や保育所のあり方の基準となる「佐伯市立幼稚園及び保育所のあり方についての実施計画書(仮称)」(以下「実施計画書」という)を策定する。</p> <p>①報告書の概要の関係機関への周知 ②実施計画書の策定</p>
中間報告	<p>①各関係機関へ報告し、報告書についての意見の聞き取りを行った。 6月 佐伯市議会全員協議会にて報告 7月 佐伯市私立保育園長協議会にて報告 7月 佐伯市学校長・センター所長会議にて報告 9月 佐伯市子ども・子育て会議にて報告</p> <p>②市立幼稚園長、市立幼稚園職員、こども福祉課、学校教育課を会議メンバーとして庁内調整会議の実施。 7月～9月にかけて、合計3回実施し、実施計画書の策定を進めた。</p>
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	今後も庁内調整会議を行い、12月に市議会報告、1月にパブリックコメントを実施し、結果を受け、精査、反映し、年度内に実施計画書の策定を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(2)	事務事業の見直し・最適化
------	---	------------	------	-----	--------------

実施項目	④	公立保育所及びこども園の業務効率化や民間活用 の検討	担当課	こども福祉課		
			関係課	学校教育課		
現状・課題	待機児童ゼロの達成と質の高い保育の実現のため、公立幼稚園や私立の保育所等と連携して保育環境を整える必要がある。また、幼児教育無償化が始まるなど状況の変化に対応するためにも、今後の就学前児童の教育・保育環境の充実を総合的に進めていく中で、公立保育所・こども園の役割を検討する必要がある。					
実施内容	「佐伯市立幼稚園・保育所のあり方検討委員会」においての検討結果を踏まえ、公立保育所のこども園化、統廃合及び民営化を検討する。					
目標指数	-		現状値	令和元年度	-	
			目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
こども園化、統廃合及び民営化の検討 検討結果に基づきこども園化等の実施	●-----●		●-----●		

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	今後の本市の公立幼稚園や保育所のあり方の基準となる「佐伯市立幼稚園及び保育所のあり方についての実施計画書(仮称)」を策定するとともに、放課後児童クラブにおける幼稚園児の受入れ終了について、私立保育園等関係機関との協議調整や保護者への周知説明を行う。
中間報告	【幼保のあり方、こども園化等】 公立幼稚園のあり方に係る庁内会議にて令和2年度に計画を策定する。その中で、私立保育園の5歳児受入が重要となるため、私立保育園等と協議し、受入れる方向で調整を進めることとなった。 【放課後児童クラブ幼稚園児受入れ終了】 幼稚園児の受入れを令和4年3月末で終了することとした。内容を6月議会で説明し、市報9月号、CTS、全保護者への通知で周知説明に努めた。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	「佐伯市立幼稚園及び保育所のあり方についての実施計画書(仮称)」の策定に合わせて、引き続き保護者への周知説明を行っていく。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(2)	事務事業の見直し・最適化
------	---	------------	------	-----	--------------

実施項目	⑤	へき地診療所のあり方の検討	担当課	保険年金課	
			関係課	振興局 地域振興課	
現状・課題	市は8か所のへき地診療所を設置しており、うち6か所を指定管理者制度により管理運営を行っている。しかし、医師不足等により、現在の診療所の体制を維持することが困難となっている。限られた医療資源や財政負担で地域医療を維持するため、効率的な医療提供体制を検討する必要がある。				
実施内容	平成30年度、令和元年度と2年続けて指定管理者の公募申請がなかった、西野浦診療所、名護屋出張診療所について、施設の休止等に向けて検討を行う。また、そのほかの診療所についても、診療所のあり方を検討する。				
目標指数	-		現状値	令和元年度	-
			目標値	令和6年度	-

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
診療所のあり方の検討	●-----●				●
診療所経営改善計画の策定(第2期)	●-----●				
診療所経営改善計画(第2期)の実施		●-----●			●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	<p>診療所経営計画の策定(第2期)を令和2年度中に策定し、その方針に基づき診療所のあり方を検討する。</p> <p>①西野浦診療所、名護屋出張診療所は、令和元年度中に施設のあり方を検討し、地元の説明を行ったうえで、令和2年4月1日から休止することとした。</p> <p>②各診療所のモニタリングを行い、診療状況や管理体制の現状を分析し、現場の声を聴きながら、管理体制の見直しを行う。</p> <p>③診療所経営改善計画を策定(第2期)し、次期指定管理者選定に関する診療所のあり方を決定する。</p>
中間報告	<p>②6月中に各診療所のモニタリングを行い、診療状況や管理体制の現状分析を行った。</p> <p>③鶴見診療所、米水津診療所は、診療所を管理する医師不足により、変則的な診療体制となっているため、地元区長会等の意見を聴きながら、診療所のあり方の検討を行っている。</p>
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	地域医療を守るための医療供給体制の見直しを行い、診療所経営改善計画(第2期)を策定する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(2)	事務事業の見直し・最適化
------	---	------------	------	-----	--------------

実施項目	⑥ 公用自動車の適正配置及びリース化	担当課	財政課		
		関係課			
現状・課題	公用自動車保有台数は、積載車等の特殊車両を除くと363台である。(本庁287台、振興局47台、上下水道部29台)公用車管理や事故処理等の事務が煩雑化している。				
実施内容	公用車の運行状況、実績を踏まえ適切な配置に努めるとともに、今後の公用車の保有形態についても車両管理・車両事務の効率化や車両経費等を把握し、比較検討を行い、車両購入からリースへの移行計画を作成する。				
目標指数	リース車両台数	現状値	令和元年度	21台	
		目標値	令和6年度	50台	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
車両経費把握及び比較検討	●-----●				
移行計画の作成	●-----●				
リース車両の順次導入		●-----●			●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①9月末までに車両の運行実績や経費等の実態を把握する。 ②3月末までに車両購入とリースの場合の経費、車両管理体制等を比較し、検討を行う。 ③3月末までに公用車の適正配置及び台数の検討を行う。
中間報告	①9月末までに車両の運行実績や経費(燃料費・自動車保険料など)を調査し、実態を把握した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	②③調査結果を分析し、更新車両をリースする場合の計画書作成及び適正配置台数の算出を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(2)	事務事業の見直し・最適化
------	---	------------	------	-----	--------------

実施項目	⑦ 消耗品の一括管理	担当課	財政課		
		関係課			
現状・課題	消耗品のうちコピー用紙(本庁舎分のみ)と封筒(全庁分)は管財課が一括購入している。経費削減の観点から、その他消耗品にも一括購入を広げていく必要がある。				
実施内容	消耗品を一括で購入・保管・管理する体制を構築する。購入した消耗品を一括管理することにより、支出の抑制と会計処理の効率化を図る。				
目標指数	一括購入品目数	現状値	令和元年度		
		目標値	令和6年度		

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
現状把握及び課題の検討	●-----●				
一括購入の開始	●-----	-----●			
対象消耗品の拡大		-----●	-----	-----	-----●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①大分県管財事務協議会に議題を提出し、各自治体の状況調査を行う。 ②9月末までに文具組合との請求処理方法などについて協議を行う。 ③3月末までに消耗品のうち一括管理する消耗品の発注、納品、支払い方法などについて検討を行う。
中間報告	①大分県管財事務協議会に議題を提出し、各自治体の状況調査を行った。 ②事務の効率化を図るために請求書の提出方法や支払方法などについて文具組合と協議を行った。 ③財政課にて一括管理(一括発注、各課へ納品、財政課支払い)する事務の流れについて検討を進めた。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	令和3年度から消耗品一括管理体制の確立に向け、他自治体の状況を参考に取組んでいく。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(2)	事務事業の見直し・最適化
------	---	------------	------	-----	--------------

実施項目	⑧ 会計事務の見直し	担当課	会計課		
		関係課	財政課		
現状・課題	支出負担行為決議書のうち一定の要件を満たすもの(更正を含む。)及び調定通知書(更正を含む。)は、会計管理者に合議がなされている。対象となる伝票数も多く事務が煩雑となっている。				
実施内容	会計規則等の見直しを実施し、合議制度を簡素化する。あわせて、その他事務の見直しも行い、事務の軽減を図る。				
目標指数	-	現状値	令和元年度	-	
		目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
他都市の状況等把握	●-----●				
会計規則等の見直し・例規改正	●-----●		●		
事務の軽減化		●-----●			●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	<p>【上半期】</p> <p>①県内他都市の会計課における事務の執行状況を把握するためのアンケート調査を実施する。(第2四半期)</p> <p>【下半期】</p> <p>②①の回答を分析し、事務の見直し項目を検討する。(第3四半期)</p> <p>③事務の見直しに係る規則等の改正を検討する。(第4四半期)</p>
中間報告	大分県都市会計管理者総会の研究課題にあげ「調定通知書及び支出負担行為の合議について」各市の状況を把握するとともに会計規則の該当資料を取り寄せた。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	取り寄せた資料を基に事務の見直し項目を検討する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(2)	事務事業の見直し・最適化
------	---	------------	------	-----	--------------

実施項目	⑨	ペーパーレス化に向けた事務改善	担当課	行政マネジメント課		
			関係課	情報推進課・議会事務局・総務課		
現状・課題	近年、多くの自治体がICT化等の活用によりペーパーレス化を推進し、事務の効率化を図っているが、本市は、このような取組が進んでいない。紙で作成する資料は膨大であり、その印刷、コピー、製本など時間(人件費)を要しているのが現状であり、事務改善が必要である。					
実施内容	①議会運営でのタブレット端末導入・・・議案、予算書、説明資料等をデータ化しタブレット端末による会議体制によりペーパーレス化及び事務の効率化を図る。 ②庁内内部会議のペーパーレス化・・・部長会議を始めに、各種内部会議の資料のペーパーレス化を推進し事務の効率化を図る。					
目標指数	-		現状値	令和元年度	-	
			目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
タブレット端末導入	●-----●				
議会ペーパーレス化実施	●-----●				●
庁内内部会議のペーパーレス化推進	●-----●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①10月までにタブレット端末を調達する。 ②12月までにタブレット端末利用に向けた研修を実施する。 ③議会運営でのタブレット端末利用については、12月議会から実施する。 ④研修実施の後、部長会議にタブレット端末を活用し、庁内会議のペーパーレス化を検証する。
中間報告	7月に入札を行い、9月末までに議会運営用のタブレット端末を調達した。 また、庁内にWi-Fiを整備し、タブレットが活用できる環境整備を行った。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	・タブレット端末の利用へ向けた関係者研修を実施する。 ・議会でのタブレット端末利用を12月議会から行う。 ・部長会議へタブレット端末を活用し、庁内会議のペーパーレス化の検証を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(2)	事務事業の見直し・最適化
------	---	------------	------	-----	--------------

実施項目	⑩	選択と集中による行政サービスの最適化	担当課	行政マネジメント課		
			関係課	全庁		
現状・課題	社会構造の変化や人口減少・少子高齢化の進行により、行政に対するニーズが多様化・複雑化している。今後は限られた経営資源を有効に活用し、行政需要に対応することが必要となる。					
実施内容	既存事業について、事業の優先順位を明確化し、見直すべきものは見直しを進め、限られた経営資源のなかで、選択と集中による行政サービスの最適化を図る。					
目標指数	-		現状値	令和元年度	-	
			目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業見直しの手法の検討	●-----●				
選択と集中による行政サービスの最適化		●-----●			●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	9月末までに事業の選択と集中を検討するための仕組みを構築する。
中間報告	各部局で事業の成果やコストなどの評価・検証を行い、事業の今後の方向性や優先順位を明確化し、予算編成につなげていくための仕組みとして、「事業の棚卸」を構築し、7月に実施した。人的コストを含めた総コストの算定や事業の優先順位付けなど、これまでにない視点での評価を行った。なお、今年度は試験的な取組として対象事業を限定して実施した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	令和2年度の実施結果を受けて、課題を整理し、令和3年度からの全事業を対象とした本格的な実施に向けた準備を進める。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(3)	業務の生産性向上
------	---	------------	------	-----	----------

実施項目	① BPR手法を用いた業務改善	担当課	行政マネジメント課		
		関係課	全庁		
現状・課題	人口減少・高齢化社会の進行による社会構造の変化及び地域課題や市民ニーズの多様化に対し、限られた職員で質の高い行政サービスを持続的に提供していくためには、業務の効率化など職員の働き方改革を推進し、生産性を高めていくことが必要となる。				
実施内容	BPR手法を用いて業務の見える化や業務分析という作業から、業務の必要性をはじめ事業の優先順位付けや業務手順の見直し、作業の標準化や効率化を行う。 ※BPR(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)・・・既存の業務内容や業務フロー、組織構造を全面的に見直し、再構築すること。				
目標指数	BPR手法により改善した業務の数	現状値	令和元年度	0	
		目標値	令和6年度	15	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
BPR手法による業務改善	●-----●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①令和2年度実施予定のRPAモデル業務(3事業)のBPRを実施する。また、令和3年度に実施するモデル事業の選定作業においても、業務分析を行ったのちにシステムの設計を行う。その業務分析の手法や効果などを検証し、BPR手法の検討を進める。 ②現状把握するため、各課から「事務分掌表」「事務説明書(事務引継書)」の提出を求め、分析したうえ、様式等の見直し(業務フロー図等の追加作成など)を行い、BPR手法を用いた業務改善を図っていく。
中間報告	①9月までにRPAモデル業務(3事業)のBPRを実施。 ②4月に各課から「事務分掌表」「事務説明書(事務引継書)」の提出を求めた。様式等の見直しは、現在、作業中である。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	①RPA導入の可能性のある業務を抽出し、業務分析等を行ったうえで令和3年度のRPA実施事業の選定を行う。 ②業務手順の見直し、作業の標準化や効率化につながるように「事務分掌表」「事務説明書(事務引継書)」の様式等の見直しを行い、提出を求める。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(3)	業務の生産性向上
------	---	------------	------	-----	----------

実施項目	② AI及び RPAの導入による業務の効率化	担当課	行政マネジメント課・情報推進課		
		関係課	全庁		
現状・課題	限られた職員で質の高い行政サービスを持続的に提供していくためには、AIやRPAなどの新たな技術を活用した業務の効率化を行い、生産性を高めていくことが必要である。				
実施内容	文字認識 AIの導入により、大量の書類を迅速かつ正確に処理し業務の効率化・適正化を図る。また、事務処理の内容が定型的であり、パソコンを用いて行う業務について RPAを導入し、自動処理化することにより作業工程や所要時間を削減し業務の生産性を高める。 ※RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)・・・パソコン作業の自動操作化ツール				
目標指数	AI・RPAを導入により効率化した業務の数	現状値	令和元年度	0	
		目標値	令和6年度	15	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
AI・RPAの導入(モデル業務)	●-----●				
モデル業務の検証		●-----●			
AI・RPAの導入(全庁展開)			●-----●		

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①モデル業務として2課でRPAを実施する。 ②11月末までにモデル事業の結果を検証し、全庁に周知を行い、令和3年度RPA導入業務を選定する。
中間報告	①6月に児童手当の現況届のシステムへの入力作業にRPAを導入し、自動入力を行った。また8月から予防接種予診票などの入力作業についてもRPA導入に向けた準備を進めた。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	①予防接種予診票などの入力作業へのRPA導入を進める。 ②児童手当の現況届のRPA実施結果を検証し、全庁に周知を行い、令和3年度RPA導入業務を選定する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(3)	業務の生産性向上
------	---	------------	------	-----	----------

実施項目	③ 給与支払報告書の電子化(eLTAXでの提出)の推進	担当課	課税課		
		関係課			
現状・課題	当初賦課に向けての課税業務については、1月中旬の給与支払報告書の受付・整理業務に始まり、2月の申告受付、3月中旬から5月にかけての課税資料の整理業務と約5か月間で実施し、時間外勤務が多い状況にある。今後、この期間の全体の仕事を精査し、時間外勤務の削減に向けて方策を考えるとともに職員の健康への負担・影響を軽減する必要がある。				
実施内容	給与支払報告書の電子化(eLTAXでの提出)の推進を実施し、紙での提出を現在の60%から40%以下に減少させ、受付・整理業務の軽減を図る。また、3月中旬から5月にかけての課税資料整理業務の業務内容を再度精査し、申告支援システムで可能な業務を掘り起こしシステムの積極的な活用で業務の効率化を図る。				
目標指数	課税業務における時間外勤務時間数(1月～5月)	現状値	令和元年度	3,330時間	
		目標値	令和6年度	2,700時間	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
業務内容の精査	●-----●				
給与支払報告書の電子化の推進	●-----●				
業務改善の実施			●-----●		

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①eLTAXの推進のため各事業所や税理士事務所等への訪問及び文書での促進を図る。 ②令和2年10月までに繁忙期の時間外勤務の時間数を把握し、業務内容の洗い出し及び内容の精査を行う。
中間報告	①給与支払報告書の電子化については、40%から54%まで上昇し、紙での提出が46%の結果となった。 ②当初課税に向けての業務内容を見直し、「申告支援システム」による扶養紐付けの自動化、税務LANアシストツールの活用等を実施し、令和元年度の時間外勤務時間数を3,300時間から令和2年度については、2,800時間に短縮することができた。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 計画より早い <input type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	①令和2年11月に送付する「給与支払報告書総括表」の発送時に各事業所へ文書配布予定、同月にCATVの「さいきほっとタイム」での周知を予定。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(4)	民間活力の積極的活用
------	---	------------	------	-----	------------

実施項目	① 家庭ごみの有料戸別収集等のあり方検討	担当課	清掃課		
		関係課			
現状・課題	一般家庭から一時的に多量に排出される一般廃棄物の収集(有料)や行政ごみの収集等を行うために臨時職員を10名を雇用し、直営で実施している。令和2年度から会計年度任用職員制度が導入され、経費の増加が見込まれるため、有料戸別収集等の再検討が必要となっている。				
実施内容	有料戸別収集や行政ごみ収集等の今後のあり方について、住民サービス及び経費面から比較検討を行い、効率的な収集体制について検討を行う。				
目標指数	-	現状値	令和元年度	-	
		目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
現状分析	●-----●				
有料収集等の代替検討	●-----●	●			
代替収集への移行準備		●-----●	●		
代替収集の実施				●-----●	●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①佐伯市の有料収集(地域別件数、年齢層、ごみ種別等)における分析を上半期までに行う。 同時に、県内他市の有料収集の形態及び料金等について調査、研究をおこなう。 ②①の分析、調査を踏まえ今後の有料収集の在り方(直営、委託、許可)について比較検討を行い、下半期から令和3年度にかけて方向性を決定する。
中間報告	①過去3年間の有料収集データと県内他市の形態等を確認し、分析を行った。 有料収集の利用者数は年々増加傾向にあり、特に最近はコロナ禍による大掃除や片付けによる多量の粗大ごみ、生活ごみが多く、高齢者世代を中心とした申込が多い状況である。また、他市に比べ収集に関する条件や手続き等が簡素であるとともに、料金も安い状況にある。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	住民サービスや経費の比較を行い、今後の収集体制(委託等)の在り方の検討を行う。 あわせて、コロナ禍の影響について、他自治体の状況と各市の方向性を確認する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(4)	民間活力の積極的活用
------	---	------------	------	-----	------------

実施項目	② エコセンター番匠ごみ搬入窓口業務の民間委託	担当課	清掃課		
		関係課			
現状・課題	ごみ搬入窓口業務は、臨時職員と再任用職員で実施している。また、年々ごみ搬入者が多くなっている状況で、安全かつ効率的な受け入れ態勢を確保する必要がある。				
実施内容	他自治体の状況を調査し、ごみ搬入窓口業務を民間委託することで、職員の削減を図る。				
目標指数	ごみ搬入窓口業務の実施体制	現状値	令和元年度	直営	
		目標値	令和6年度	民間委託	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
他自治体の調査、計画の決定	●-----●				
施設等の整備	●-----●				
民間委託			●-----●		

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①民間委託の実施検討にあたり、他市の施設状況等の調査・分析を上半期に行う。また、その結果をもとに、施設整備費や人件費等の試算を行う。 ②①の結果を踏まえ、直営及び民間委託の費用対効果等の検証を行い、令和2年度中に方向性を決定する。
中間報告	①他自治体における委託事例を調査・分析した結果、委託事業者の事務所設置やごみ搬入口の計量システムの改修等が必要であること、また、他市に比べ窓口受付時間が長いため、人件費(業務委託料)が高額になることが判明した。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	施設整備の財源検討及び業務委託内容の検討を行い、今後必要となる施設整備費と業務委託料の費用対効果等を検証し、方向性を決定する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(4)	民間活力の積極的活用
------	---	------------	------	-----	------------

実施項目	③ 食のまちづくり推進事業の民間委託	担当課	ブランド推進課		
		関係課			
現状・課題	全国でも珍しい「食のまちづくり条例」を礎に、他市には無い各種ソフト事業を展開している。令和2年秋に開館予定の「さいき城山桜ホール」には、その活動拠点(キッチン&セミナーコート)が設けられることから、今後より一層、市民活動と連動させた事業推進が求められている。				
実施内容	「さいき城山桜ホール」において、食のまちづくり事業を積極的に展開しつつ、“直営期間中”に民間委託の道筋を定め、より地域に根差した「市民の市民による市民のための食育」の実現を図る。				
目標指数	食のまちづくり推進業務の運営	現状値	令和元年度	市直営	
		目標値	令和6年度	民間委託	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
さいき城山桜ホールでの直営事業実施	●				●
外部委託に向けた検討	●				●
民間団体や連携組織の強化・育成	●				●
組織改編・職員配置等の検討			●		●
デモ実施・民間委託				●	●

【令和2年度 実施内容】

年度目標	①上半期に「さいき城山桜ホール」での事業準備に取り組み、下半期から事業を実施する。 ②ソフト事業の実施に当たっては、委託事業を積極的に行い、アウトソーシングの素地を築く。 ③「さいき城山桜ホール」での連携事業の円滑化に向け、推進団体の育成や強化に取り組む。
中間報告	① さいき城山桜ホールの開館(10月31日)に向けて施設内での食育事業の準備を行った。また、事業の受託を予定している「食育サポーター」のスキル向上のため、養成講座を実施した。 ②8月に組織化された市民団体「豊かな食の郷土づくり研究会」の加盟登録を行った。 なお、この団体は、令和3年2月に行われる食イベントを担う予定である。 ③推進団体の育成を目的として、「第1回さいきオーガニックまるしえ」(12月19日予定)への参加団体を募集した。(食のまちづくり推進活動補助金採択団体・オーガニック普及団体)
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	①「さいき城山桜ホール」における食のまちづくり推進事業の実施(みそづくり講座・食育ワークショップ、築立つ君たちへの自炊塾、定期食育ワークショップ・食のカンファレンス) ②③今後のアウトソーシングに向けて、関係団体や関係部署との連携を図るための意見交換会を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(4)	民間活力の積極的活用
------	---	------------	------	-----	------------

実施項目	④	ふるさと納税事務の民間委託	担当課	ブランド推進課	
			関係課		
現状・課題	ふるさと納税は令和元年6月より新制度となり、ふるさと納税の募集経費は寄附金額の50%以下にしなければならなくなった。しかし、本市の現状は、返礼品30%、送料10%、サイト掲載料14%、決済料2%、広告費1.3%、事務費0.7%、計58%である。さらに、この経費に人件費を含めなくてはならないので、実際は経費が60%を超えている。				
実施内容	返礼品の開発、返礼品の受・発注管理、寄附者の問い合わせ対応、寄附受領証明の発送など原則全ての事務を民間に委託する。その場合、従来の年間定額型の契約でなく、寄附金額に対して45%のように年間定率型の契約が望ましい。これにより、募集経費50%以下はクリアでき、職員数も兼務総括と担当1名で対応できると考える。				
目標指数	ふるさと納税事務の民間委託	現状値	令和元年度	直営	
		目標値	令和6年度	民間委託	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
民間委託事務と市で行う事務の仕訳	●-----●				
委託業務仕様書作成	●-----●				
業者選定		●-----●			
民間委託			●-----●		

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①民間委託が可能な事務の仕訳を上半期に終える。 ②公募に向けて、仕様書の素案を令和3年1月末までに作成する。
中間報告	他市の事例なども参考に民間委託が可能な事務の仕分けを行った。 民間委託が可能な業務は、ポータルサイトの運営や返礼品事業者への発注・調整業務など、現在職員が行っているほとんどの業務が可能であり、さらには行政とは異なる民間事業者の視点での新たな返礼品の開発・提案及びふるさと納税のプロモーションなども期待が出来る。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	仕様書の素案を計画通りに令和3年1月末までに完成する。 また、令和3年度に実施する公募プロポーザルに向けての準備を行っていく。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(4)	民間活力の積極的活用
------	---	------------	------	-----	------------

実施項目	⑤ 地域包括支援センターの民間委託	担当課	高齢者福祉課		
		関係課	行政マネジメント課		
現状・課題	今後、支援が必要とされる75歳以上の高齢者が増加する傾向にあり、介護・医療費などの社会保障費の急増が懸念されていることから、さらなる福祉サービスの充実と体制強化が必要となっている。そこで、現在は1箇所のみを設置となっている地域包括支援センターを3箇所に増やすこととし、これまで以上の体制強化を構築する。				
実施内容	民間活力導入による相談体制の強化 ①委託先と設置場所 ②研修で出向する職員数及び人件費 ③専門職(保健師等)の確保 ④適正な委託料及び委託期間等について方針を決定する。直営型【圏域1 佐伯・上浦】委託型【圏域2 弥生・本匠・宇目・直川、圏域3 鶴見・米水津・蒲江】				
目標指数	地域包括支援センターの運営	現状値	令和元年度	直営	
		目標値	令和6年度	一部民間委託	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
委託先法人の職員研修 一部民間委託	●-----●	●-----●			●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①7月開催予定の地域包括支援センター運営協議会で委託先法人の承認を得る。 ②令和3年1月(予定)から委託先法人の職員研修を実施する。
中間報告	①新型コロナウイルス感染予防対策のため、7月開催予定だった地域包括支援センター運営協議会が10月に延期されたが、10月に開催される運営協議会に議案として提出することとしている。 ②人件費等については委託先と合意済み。運営協議会終了後、職員の受け入れについてスケジュール等の詳細について協議を行う予定。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	ケースの移管(ケアマネの引継ぎ)、備品準備(公用車等)、事務所の確保、委託契約・協定の締結、要綱等の改正、認可手続き、配置人員協議(保健師の出向含む)等、委託に向けて準備を進める。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(4)	民間活力の積極的活用
------	---	------------	------	-----	------------

実施項目	⑥	下水道施設の包括的民間委託	担当課	下水道課	
			関係課	営業課	
現状・課題	下水道施設は、公共下水道1施設、特定環境保全公共下水道3施設、農業、漁業集落排水処理施設21施設で、運転管理等は民間に委託している。一定規模以上の修繕は市の直営となっているが、技術職員の不足により修繕時に求められる技術力低下が課題となっている。				
実施内容	技術職員の不足等の解決策として、民間企業の技術的ノウハウの導入を検討し、包括的民間委託への移行を図る。				
目標指数	-		現状値	令和元年度	-
			目標値	令和6年度	-

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
業務範囲等内部検討	●-----●				
導入の事前検討		●-----●			
導入可能性調査			●-----●		
実施方針の策定・公表 特定事業の選定					●-----●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	【上半期】 先進地の情報収集及び勉強会等の実施 【下半期】 水処理施設及び管渠施設等の委託業務範囲の検討
中間報告	先進地の情報収集は実施しているが、包括的民間委託業務の受託実績のある業者による勉強会の開催については、5月のコロナウイルス緊急事態宣言や7月の県域をまたぐ移動の自粛規制等を受けて未開催の状況である。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	新型コロナウイルスの状況を考慮しながら勉強会の開催や情報を収集を行い、業務範囲の検討を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(4)	民間活力の積極的活用
------	---	------------	------	-----	------------

実施項目	⑦ PPP/PFIの推進	担当課	行政マネジメント課		
		関係課			
現状・課題	公共施設の老朽化に伴う将来の財政負担や人口減少など取り巻く環境の変化に対応していくため、今後の公共事業の推進においては、官民が連携し民間の活力やノウハウを最大限有効に活用し、公共施設に係るコストの縮減と多様化する市民ニーズなどに対応した質の高い行政サービス提供の両立を図る必要がある。				
実施内容	公共施設等の設計、建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化を図る。				
目標指数	-	現状値	令和元年度	-	
		目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
PPP推進基本方針の策定	●-----●				
庁内外の推進体制の整備	●-----●	●-----●			
PPP/PFIの推進		●-----●			●-----●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①「指定管理施設」について、特に令和2年度、3年度に指定管理期間が満了するものは、民間移譲を検討 ②PPP/PFI推進のための基本方針を策定し、庁内外の推進体制を整備
中間報告	①令和2年度末、3年度末で指定管理期間が満了する施設のうち、特に件数が多い地区集会所類を中心に地区譲渡を推進するための補助制度の拡充等を行った。 ②PFI、DBO、コンセッションの導入検討については、大分県のプラットフォーム参加など調査研究に留まった。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	年度末までに、今後比較的大規模な公共施設を建設、更新、大規模修繕等する際には直営とPPの導入とを比較検討をする旨の方向性を確立する。指定管理施設のうち民間移譲の可能性がある施設の検討を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(5)	協働社会の構築と圏域行政の推進
------	---	------------	------	-----	-----------------

実施項目	① 新たな住民自治組織のあり方について	担当課	コミュニティ創生課		
		関係課			
現状・課題	人口減少や高齢化が進み、地域独自の伝統文化の継承が厳しくなったり、地区・自治の存続自体が厳しくなり地区の統廃合が進むなど、地域の衰退が危惧されている。				
実施内容	各地域の地域課題の解決や振興策など、地域のあり方について、どのような組織体制等で進めていくのがよいかを研究し、その結果を踏まえ、協働型社会の実現に向けた新たな住民自治組織の構築に取り組む。				
目標指数	モデル地区の選定、実践、検証	現状値	令和元年度	0地区	
		目標値	令和6年度	9地区	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
PT会議の開催	●	●			
地域・地区等の現状把握等	●	●			
先進地事例などの情報収集等	●	●			
推進委員会(仮称)		●			●
モデル地域の選定、実践、検証			●		●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	1 地区公民館のコミュニティセンター化について 【上半期】地区公民館及び振興局のヒアリングを行い、職員体制を含めたコミュニティセンター化のロジックを構築する。【下半期】条例整備や市民への周知を行い、令和3年3月までに、地区公民館を教育委員会から市長部局に移管し、コミュニティセンター化する。(令和3年4月からコミュニティセンター開設) 2 新たな地域コミュニティ組織の構築について 【上半期】全区長に対しアンケート調査を実施し、区長会の実態把握を行う。あわせて、社会福祉協議会等と連携して、地域福祉の実態把握を行う。事業内容を構築し、モデル地区を3地区選定する。【下半期】令和5年4月からの本格運用に向けて、モデル地区住民と検討を進める。
中間報告	1 地区公民館のコミュニティセンター化について 地区公民館及び振興局のヒアリングを行い、現状と課題を整理した。コミュニティセンター化については、関係課、関係団体等と協議を重ね、ロジックを構築した。職員体制については原案を作成済み。 2 新たな地域コミュニティ組織の構築について 全区長に対してアンケート調査を実施、加えて社会福祉課、社会福祉協議会等と協議・連携する等、区長会及び地域福祉の実態把握を行った。モデル地区については「佐伯市地域コミュニティ推進指針」(素案)を作成し、4地区を候補に挙げた。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	地区公民館のコミュニティセンター化については、条例整備や市民への周知、教育委員会からの引継ぎを行う。新たな地域コミュニティ組織の構築については、新たな地域コミュニティ組織設立のための進め方研修を担当職員に対して実施するとともに、モデル地域住民への意識醸成を図りながら、モデル地域住民と協働し新たな地域コミュニティ組織設立の検討を始める。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(5)	協働社会の構築と圏域行政の推進
------	---	------------	------	-----	-----------------

実施項目	② 地域に根差した市民協働体制の構築	担当課	地域振興課		
		関係課			
現状・課題	市民協働関連事業への補助金交付や研修会の開催等は直営で、協働の拠点(よろうや仲町)の管理・運営は委託で実施している。しかし、令和2年度は新たな活動拠点(さいき城山桜ホール/市民協働ルーム)が設けられることから、行政と民間(事業所・市民団体)や産・官・学等多様な連携と協働型社会の実現に向けた意識改革に期待がかかる。				
実施内容	「よろうや仲町」から「さいき城山桜ホール」(当面は市直営)への拠点移行を機に、産・官・学の協働や団体相互の連携を活発にするソフト事業(研修会等)を積極的に実施していく。直営期間中に各種団体の育成を図り、市民主体の協働体制を築くとともに市民協働業務の民間委託に取り組む。(事業の質向上と職員数・人件費の削減を目指す)。				
目標指数	-	現状値	令和元年度	-	
		目標値	令和6年度	-	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
さいき城山桜ホールでの直営事業実施	●-----●				
民間委託に向けた検討	●-----●				
民間団体や連携組織の強化・育成	●-----●				
組織改編・職員配置等の検討			●-----●		
デモ実施・アウトソーシング				●-----●	●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①上半期に「さいき城山桜ホール」での事業準備に取り組み、下半期から事業を実施する。 ②上半期に「よろうや仲町」にて各種団体による情報交換会等を行い、「さいき城山桜ホール」の利用を促す。 ③「さいき城山桜ホール」の利用促進と市民協働体制の充実に向け、まちづくり研修会等を実施する。
中間報告	①「さいき城山桜ホール」の利活用方針を関係課と協議を行った。 ②まちづくり交流倶楽部の団体に対し、「よろうや仲町」の閉館と、「さいき城山桜ホール」の開館についてお知らせした。また、希望する団体対象のホール見学会を順次実施予定。 ③下半期での研修会等の開催に向け、準備を進めた。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	まちづくり交流倶楽部の団体に対し、ホールの見学会を企画し、利用促進を図る。また、研修会の開催も行う予定。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(5)	協働社会の構築と圏域行政の推進
------	---	------------	------	-----	-----------------

実施項目	③	クラウドファンディング活用型まちづくりファンドの構築	担当課	地域振興課		
			関係課	全庁		
現状・課題	住民のまちづくり参加を促すためには、行政の財政支援が必要となる。しかし、財源が厳しい中では予算の確保が難しい。また、住民としても自ら身を切る気持ちがないと持続的なまちづくりには繋がらない。					
実施内容	(一社)民間都市開発機構には、市のまちづくり基金に資金を拠出する制度がある(上限1億円、返還不要)。市は、まちづくりに資する事業を募集し、まちづくり団体等へ助成する(空き家等利活用など)。まちづくり団体等は自らもクラウドファンディングで事業費の1/2以上の資金を集め、市からの助成金と合わせ実施する。					
目標指数	まちづくり活動団体数		現状値	令和元年度	0団体	
			目標値	令和6年度	6団体	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
機構との協議・要綱策定準備等	●-----●				
機構へ申請・ファンド構築		●-----●			
公募・助成		●-----●			●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①上半期に機構との協議・要綱策定を行う。 ②予定を前倒し、令和2年度上半期に機構への申請、ファンド構築を行い、下半期に公募を行う。
中間報告	①上半期で機構との協議を終了し、要綱を策定した。 ②予定を前倒し、上半期で機構への申請、ファンド構築まで行うことができた。下半期からの公募の準備と並行し、事業予定者の掘り起こしを行った。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 計画より早い <input type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	下半期は、公募、事業評価委員会、事業者によるクラウドファンディングを行い、令和3年度からクラウドファンディング成功者へ助成を行う。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(5)	協働社会の構築と圏域行政の推進
------	---	------------	------	-----	-----------------

実施項目	④ 災害時に生きるネットワークづくり	担当課	防災危機管理課		
		関係課			
現状・課題	九州一面積が広く、長いリアス海岸を有する本市にあっては、大規模災害時の対応も困難を極め、自己完結は厳しくなる。平成30年度に受援計画は策定済であるが、関連業界との協力体制の拡充や地域間連携の仕組みを強化していくことで、エリア全体としての防災力を向上を図る。				
実施内容	防災力の向上を図るため、①新規防災協定件数を増やす、②協定済団体との連携を強化する、③国土強靱化地域計画を推進する、④沿岸部と山間部の地域内連携を強化する。				
目標指数	防災協定の新規締結件数	現状値	令和元年度	97件	
		目標値	令和6年度	120件	

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規防災協定の締結	●				●
協定済団体との連携の強化	●				●
国土強靱化地域計画の推進	●				●
沿岸部と山間部の地域内連携(避難所運営訓練)	●				●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	①新規防災協定の締結 災害時に有効な協定の締結を進める。上半期1件、下半期1件 ②協定済団体との連携の強化 年度当初に締結先担当者の確認を行うと共に、必要に応じて協定内容の確認を行う。 ③国土強靱化地域計画の推進 該当事業の進捗状況を防災局で集約し「年次計画」の更新を毎年上半期に行う。 ④沿岸部と山間部の地域内連携(避難所運営訓練) 広域的な避難が必要になった場合を想定した沿岸部と山間部の連携避難訓練の実施
中間報告	①新規防災協定の締結 9月に「災害時に必要な資機材の提供に関する協定」を締結済み。 ②協定済団体との連携の強化 4月に「災害時における応急対策活動協力に関する協定」の更新を行った。 ③国土強靱化地域計画の推進 該当事業の進捗状況を防災局で集約し「令和2年度年次計画」の更新を行った。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応 (年度中の取組)	①新規防災協定の締結 災害時における石油燃料類の提供に関する協定の締結を進める。 ④沿岸部と山間部の地域内連携(避難所運営訓練) 沿岸部と山間部が連携した避難訓練を実施する。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	

佐伯市行政経営推進プラン(前期プラン) | 実施計画進捗管理シート(中間)

基本方針	4	行政の質と生産性向上	推進項目	(5)	協働社会の構築と圏域行政の推進
------	---	------------	------	-----	-----------------

実施項目	⑤	県下消防指令業務の共同運用	担当課	消防本部通信指令課		
			関係課	消防総務課		
現状・課題	119受信装置及び消防無線装置(以下『指令システム』という。)は、導入費用に加え、年間維持費も高額である上に、機能維持のための定期的な機器更新が必要である。市民の命に直結する指令システムの維持は多額の費用が必要である。今後も市が単独で指令システムを維持するためには高額な経費が必要となる。					
実施内容	令和元年度から、県下消防本部の指令システムを共同指令センターでの運用に向けた検討が始まった。指令システムの更新や維持経費、保守点検の経費削減のため共同運用に向けた協議を積極的に進めていく。					
目標指数	消防指令業務の運用	現状値	令和元年度	単独運用		
		目標値	令和6年度	共同運用		

▼スケジュール

取組項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
共同運用整備に関する部会検討	●-----●				
指令センター運用の取り決め・工事		●-----●			
消防指令業務の共同運用					●-----●

【令和2年度 実施内容】	
年度目標	① 消防指令業務の共同運用開始を目指し、「共同運用基本計画書」を作成する。 ② 「共同運用基本計画書」をもとに「消防通信指令業務連携・協力実施計画書」を作成する。 ③ 各消防本部(局)と事務範囲、管理及び執行の方法、経費の負担等、事務委託に関する事項について、各消防(局)本部と協議を行う。
中間報告	① 「共同運用基本計画」については、作成済み。 ② 「消防通信指令業務連携・協力実施計画書」については、令和2年度中の完成を目指し、協議中である。
中間自己評価	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 計画より早い <input checked="" type="checkbox"/> 計画通り <input type="checkbox"/> 計画より遅れている <input type="checkbox"/> 再検討 <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 未達成
今後の対応(年度中の取組)	各消防本部(局)と「大分県域消防指令業務共同運用検討協議会」の中で「消防通信指令業務連携・協力実施計画書」の内容等協議し、令和2年度中の完成を目指す。

本部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 自己評価を支持 <input type="checkbox"/> 下記のとおり指摘
意見	